2015/03/23(月)14:37

科目名	基礎生物学(Basic Biology)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	1	授業方法	講義	選択必修	総合教育(必修)
科目責任者	小林 俊亮		担当者	廣瀬 大、益子 崇、大橋 祥世					
授業概要及び目標	薬学部で学ぶ生物学のごく基礎的な事項の解説を行い、今後の生物の授業に向けて全体像を理解することを目標とする。								
準備学習の内容	高校生物の教科書あるいは生物学に関連した参考書などを読んでおくこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.	C6(1)1-1, C6(1)2-1	担当者	廣瀬 大
準備学習[予習]	細胞生物学I, IIの教科書であるエッセンシャル細胞生物学の1章「細胞とは」p.1-11を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	【細胞生物学入門】細胞生物学を学ぶことの重要性を説明できる。細胞の統一性と多様性を理解する。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、授業中に示す課題を行うこと。			
2回	コアカリNo.	C6(1)1-1, C6(1)2-1, C6(1)3-1	担当者	廣瀬 大
準備学習[予習]	エッセンシャル細胞生物学の1章「細胞とは」p.11-35を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	【細胞生物学入門】原核細胞と真核細胞の特徴を概説できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、授業中に示す課題を行うこと。			
3回	コアカリNo.	C7(1)2-1・2, C6(4)3-1	担当者	小林 俊亮
準備学習[予習]	配布するプリントを見てどのようなことを学ぶかを知っておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	ヒトのライフサイクルについて概説できる。 発生について概説できる。 DNAの複製過程について概説できる。			
事後学習[復習]	講義中に示す課題を行っておくこと。			
4回	コアカリNo.	C6(2)5-1, C6(4) 4-1・4・5	担当者	小林 俊亮
準備学習[予習]	配布するプリントを見てどのようなことを学ぶかを知っておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	RNAについて説明できる。 遺伝子の転写～翻訳の過程について概説できる。			
事後学習[復習]	講義中に示す課題を行っておくこと。			
5回	コアカリNo.	C6(5)1-1, C6(5)2-1~2	担当者	大橋 祥世
準備学習[予習]	配布するプリントを通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	エネルギー代謝の概要を説明できる。 解糖系、クエン酸回路(TCAサイクル)について説明できる。			
事後学習[復習]	配布プリントまたは講義中に提示する課題に取り組むこと。			
6回	コアカリNo.	C6(5)2-3, C6(5)3-1	担当者	大橋 祥世

準備学習[予習]	配布するプリントを通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	電子伝達系とATP合成について説明できる。 脂肪酸のβ酸化について説明できる。			
事後学習[復習]	配布プリントまたは講義中に提示する課題に取り組むこと。			
7回	コアカリNo.	C7(1)4	担当者	益子 崇
準備学習[予習]	講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	脳・脊髄及び脳神経・脊髄神経について概説する。			
事後学習[復習]	配布プリントの問題に解答すること。			
8回	コアカリNo.	C7(1)3 C7(1)5	担当者	益子 崇
準備学習[予習]	講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	人体を構成する器官の名称、形態について概説する。 骨、筋肉について概説する。			
事後学習[復習]	配布プリントの問題に解答すること。			

履修上の注意・受講生への要望	講義に出席し、準備学習、事後学習を行うことが大切である。
教科書	エッセンシャル細胞生物学またはプリント
参考書	
成績評価	定期試験100%。ただし、理由なく2回以上欠席した場合は、試験受験の有無に関わらず試験評価しない。

2015/03/31(火)17:29

科目名	基礎化学(Fundamental Chemistry)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	1	授業方法	講義	選択必修	総合教育(必修)
科目責任者	髙畠 亨		担当者	四宮 一総、内山 武人、鳥山 正晴、三浦 基文、髙宮 知子					
授業概要及び目標	薬学を学ぶためには、高校化学の基本的概念や原理・法則を十分に理解しておくことが必要である。高校化学の基礎学力を補い、薬学に必要な高校化学の範囲と大学で学ぶ化学系科目をつなげ、理解する事を目標とする。								
準備学習の内容	高校で学ぶ「化学基礎」、「化学」(高分子化合物の性質と利用を含む)の復習をする。授業前に高校教科書の各学習項目を読んでおくこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	鳥山 正晴 髙畠 亨
準備学習[予習]	高校教科書の物質の構造:原子の電子配置、周期表を読む。			
到達目標・授業内容(方略)	物質の構造:原子の電子配置、電子配置と周期表の関係について説明でき、大学課程の基礎項目領域について理解し、例題が解ける。			
事後学習[復習]	配布した例題で、不正解の問題を理解する。			
2回	コアカリNo.		担当者	三浦 基文 髙畠 亨
準備学習[予習]	高校教科書の物質の構造:イオン結合、共有結合、配位結合、金属結合、ファンデルワールス力、水素結合を読む。			
到達目標・授業内容(方略)	物質の構造:イオン結合、共有結合、配位結合、金属結合、ファンデルワールス力、水素結合について説明でき、大学課程の基礎項目領域について理解し、例題が解ける。			
事後学習[復習]	配布した例題で、不正解の問題を理解する。			
3回	コアカリNo.		担当者	四宮 一総 髙畠 亨
準備学習[予習]	高校教科書の物質の変化:水素イオン濃度とpHの定義、酸化・還元の定義、イオン化傾向を読む。			
到達目標・授業内容(方略)	物質の変化:水素イオン濃度とpHの定義、酸化・還元の定義、イオン化傾向について説明でき、大学課程の基礎項目領域について理解し、例題が解ける。			
事後学習[復習]	配布した例題で、不正解の問題を理解する。			
4回	コアカリNo.		担当者	内山 武人 髙畠 亨
準備学習[予習]	高校教科書の有機化合物:飽和炭化水素及び不飽和炭化水素の名称、化学式、性質、反応を読む。			
到達目標・授業内容(方略)	有機化合物:飽和炭化水素及び不飽和炭化水素の名称、化学式、性質、反応について説明でき、大学課程の基礎項目領域について理解し、例題が解ける。			
事後学習[復習]	配布した例題で、不正解の問題を理解する。			
5回	コアカリNo.		担当者	内山 武人 髙畠 亨
準備学習[予習]	高校教科書の有機化合物:酸素及び窒素を含む有機化合物の名称、化学式、性質、反応を読む。			
到達目標・授業内容(方	有機化合物:酸素及び窒素を含む有機化合物の名称、化学式、性質、反応について説明でき、大学課程の基礎項目領域について理解し、例題が解ける。			

略)				
事後学習[復習]	配布した例題で、不正解の問題を理解する。			
6回	コアカリNo.		担当者	高宮 知子 高畠 亨
準備学習[予習]	高校教科書の反応の速さ、化学平衡を読む。			
到達目標・授業内容(方略)	反応の速さ、化学平衡について説明でき、大学課程の基礎項目領域について理解し、例題が解ける。			
事後学習[復習]	配布した例題で、不正解の問題を理解する。			
7回	コアカリNo.		担当者	高宮 知子 高畠 亨
準備学習[予習]	高校教科書の糖、炭水化物、アミノ酸、たん白質、その他の天然有機化合物、高分子化合物を読む。			
到達目標・授業内容(方略)	糖、炭水化物、アミノ酸、たん白質、その他の天然有機化合物、高分子化合物について説明でき、大学課程の基礎項目領域について理解し、例題が解ける。			
事後学習[復習]	配布した例題で、不正解の問題を理解する。			
8回	コアカリNo.		担当者	内山 武人 高畠 亨
準備学習[予習]	高校教科書の有機化合物:芳香族化合物の名称、化学式、性質、反応を読む。			
到達目標・授業内容(方略)	有機化合物:芳香族化合物の名称、化学式、性質、反応について説明でき、大学課程の基礎項目領域について理解し、例題が解ける。			
事後学習[復習]	配布した例題で、不正解の問題を理解する。			

履修上の注意・受講生への要望	高校在学時に使用した教科書、参考書の「化学基礎」、「化学」(高分子化合物の性質と利用を含む)の範囲を勉強する。pHの計算、モル計算などの計算問題もしっかり復習してください。
教科書	授業時にプリント及び例題を配布します。 高校在学時に使用した教科書、参考書を持参してください。
参考書	
成績評価	4月に高校で学ぶ範囲の試験を行い、基準点以上の者は55%の点数とする。基準点に達しない者には基礎化学(ベーシック)を受けると共に課題等を与える。すべての授業が終了した時点で応用である大学課程で学ぶ化学系科目の基礎項目領域について、2回目の試験を行い、残り45%の点数とし、総合的に判断する。4月に基準点以下の者は併せて高校で学ぶ範囲の試験を再び行う。

2015/03/23(月)14:37

科目名	基礎物理学(Fundamental Physics)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	1	授業方法	講義	選択必修	総合教育(必修)
科目責任者	小林 宏司		担当者						
授業概要及び目標	物理学は現代科学の担い手として、あらゆる産業の基礎となっている学問である。少数の基本的原理・法則から演繹的に、現象を支配するメカニズムの本質に迫る物理学の手法、思考の重要性は、薬学の分野においても重要である。本講義では物体の運動が物理法則、概念に基づいていることを学ぶ。また、次元と時間の基本的な考え方と数学的な計算力を身につけることを学習目標とする。								
準備学習の内容	微分・積分を含む高卒レベルの基礎的な数学の計算ができること。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	高校までの数学全般の復習をすること。			
到達目標・授業内容(方略)	基本的な数学の計算ができる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
2回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	高校数学の微分・積分の分野を復習すること。			
到達目標・授業内容(方略)	基礎的な微分と積分の概念の説明と計算ができる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
3回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書(p.3～8)を予習する。			
到達目標・授業内容(方略)	物理量の単位と国際単位系(SI)について説明できる。また，ベクトルおよびスカラー量を理解し，質点の速さと速度の違いを説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
4回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書(p.9. 16～23)を予習する。			
到達目標・授業内容(方略)	質点の位置，速度および加速度の意味と関係について説明できる。また，重力について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
5回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書(p.16～23)を予習する。			
到達目標・授業内容(方略)	速度の意味を説明できる。また，質点の運動を微分と微分方程式を使って説明ができる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			

6回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	三角関数の復習をする。また，教科書(p.38～41)を予習する。			
到達目標・授業内容(方略)	円運動する質点の速度と加速度の説明ができる。また，振幅と波長の説明ができる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
7回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書(p.10～12, 24～29)を予習する。			
到達目標・授業内容(方略)	物理学的な力と運動量について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
8回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書(p.30～37)を予習する。			
到達目標・授業内容(方略)	物理学的な仕事とエネルギーについて説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			

履修上の注意・受講生への要望	毎回行う小テストで形成的評価をし、成績評価に反映させます。したがって，出席数が成績評価に影響します。
教科書	(書名)プライマリー薬学シリーズ2　薬学の基礎としての物理学 (編集)日本薬学会 (出版)東京化学同人　定価 2,400 円(税別) 上記の教科書において内容が不足する部分は，LMSに講義資料を掲載するので，各自で取得すること。
参考書	
成績評価	定期試験60%，小テスト40%，なお講義中の演習問題に解答した学生には別途得点を与える。

2015/03/23(月)14:18

科目名	基礎数学(Basic Mathematics)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	1	授業方法	講義	選択必修	総合教育(必修)
科目責任者	丹羽 典朗		担当者						
授業概要及び目標	この授業では，1年後期に開講される『微分・積分とその応用』を学ぶ上で必要となる，数学の基礎を身につけることを目標とする.								
準備学習の内容	高校の時に使用していた『数学I，数学II，数学A，数学B，数学III』の教科書の該当する箇所をあらかじめ読んでおくこと.								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	高校の教科書の該当する箇所を読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	さまざまな2次関数のグラフを描くことができる. それを利用して，2次不等式を解くことができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて，講義内容を理解できているかを確認する.			
2回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	高校の教科書の該当する箇所を読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	指数の定義を理解し，その性質を用いて指数に関する計算ができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて，講義内容を理解できているかを確認する.			
3回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	高校の教科書の該当する箇所を読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	対数の定義を理解し，その性質を用いて対数に関する計算ができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて，講義内容を理解できているかを確認する.			
4回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	高校の教科書の該当する箇所を読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	さまざまな指数関数，対数関数のグラフを描くことができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて，講義内容を理解できているかを確認する.			
5回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	高校の教科書の該当する箇所を読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	三角関数の定義を理解し，その性質を用いて三角関数に関する計算ができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて，講義内容を理解できているかを確認する.			
6回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗

準備学習[予習]	高校の教科書の該当する箇所を読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	さまざまな三角関数のグラフを描くことができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて，講義内容を理解できているかを確認する.			
7回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	高校の教科書の該当する箇所を読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	具体的な事柄の場合の数を求めることができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて，講義内容を理解できているかを確認する.			
8回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	高校の教科書の該当する箇所を読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	確率の性質を理解し，基本的な事象の確率を求めることができる.			
事後学習[復習]	定期試験に向け，学んだこと全体を再確認し整理する.			

履修上の注意・受講生への要望	演習問題を解くとき，まず最初は自分自身で考えてみること. 自分の頭で考える習慣を身につけてくれることを望む.
教科書	無し
参考書	各自が高校の時に使用していた『数学I，数学A，数学II，数学B，数学III』の教科書を必要に応じて参照せよ.
成績評価	レポート40%， 試験60%

2015/03/25(水)12:30

科目名	情報リテラシー(Information and Communication Literacy)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	1	授業方法	演習	選択必修	総合教育(必修)
科目責任者	小林 宏司		担当者	張替 直輝、三宅 宗晴、板垣 正					
授業概要及び目標	与えられた課題を解き、パソコンの文書作成および表計算用アプリケーションソフトを使用してレポートの作成を行なう。また、インターネットを利用して、医薬品情報、科学文献、医学情報を収集する能力を身につける。以上の内容により、医療現場で薬剤師に求められるニーズに対応できる能力を身につける。								
準備学習の内容	高校の化学および情報の内容を復習すること。また、各自でPCの初期設定を完了させておくこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	PCの取扱説明書を読み，PC各部の名称と機能を確認しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	ネットワークにおける基本的なエチケットについて説明することができる。また，PCを起動し，学内ネットワークへの接続ができ，大学の学修に関係するインターネットサイトの閲覧および検索をすることができる。			
事後学習[復習]	教室以外からの学内ネットワークへの接続方法を確認する。また，ネットワークにおけるエチケットを復習する。			
2回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	文書作成ソフト(WORD)の起動を確認し，必要な初期設定を行う。			
到達目標・授業内容(方略)	文書作成ソフト(WORD)の概要を理解し，文書を作成することができる。また，文書中に数式を作成することができる。			
事後学習[復習]	講義中に作成した文書および数式の体裁を整え完成させる。			
3回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	表計算ソフト(EXCEL)の起動を確認する。			
到達目標・授業内容(方略)	表計算ソフト(EXCEL)の概要を理解し，表を作成することができる。			
事後学習[復習]	講義中に作成した表の体裁を整え完成させる。			
4回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	前々回，前回までに作成した文書，表およびグラフの内容を確認する。			
到達目標・授業内容(方略)	表計算ソフト(EXCEL)を使用して，指定された内容のグラフを作成することができる。また，WORD文書の中にグラフを挿入し複合文書を作成することができる。			
事後学習[復習]	講義中に作成した複合文書の体裁を整え，完成させる。			
5回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	高校の化学についての復習を行う。			
到達目標・授業内容(方略)	高校で履修する化学レベルの与えられた課題について他人と討論して解答を導くことができる。(PBL)[問題解決型学習]			
事後学習[復習]	講義中の討論内容をまとめ解答を作成する。			
6回	コアカリNo.		担当者	

準備学習[予習]	前回作成した解答について検証を行う。			
到達目標・授業内容(方略)	前回導き出された課題の解答について他人と議論し，解答内容を完成させることができる。(SGD)[問題解決型学習]			
事後学習[復習]	講義中に議論された内容をまとめ解答を完成させる。			
7回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	前回までに作成した解答についてのレポートを作成するにあたって必要となるコンテンツを準備する。			
到達目標・授業内容(方略)	複数のコンテンツ(文書，表，グラフ等)を融合して，効果的なレポートを作成することができる。また、LMSを使ってレポートを提出することができる。			
事後学習[復習]	提出用レポートを完成させ、LMSへの提出を完了する。			
8回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	事前に提示された課題について解決方法を調査する。			
到達目標・授業内容(方略)	事前に与えられた課題についてグループ討論を行って適切な解を導き主張することができる。(TBL)[問題解決型学習]			
事後学習[復習]	導き出した解を再検討し、今後の学生生活に生かす方法を考える。			

履修上の注意・受講生への要望	演習科目につき．講義に出席し．PBL・SGD・TBLには自ら積極的に参加すること。また，課題レポートのコピーは定期試験のカンニング行為と同等に取り扱う。なお，講義の性格上，必ずPCを持参すること。
教科書	配布するプリント
参考書	(書名)すぐわかる Office 2013 (著者)阿部ヒロコ他 (出版)アスキー・メディアワークス　定価 1,880円(税別) 高校で使用した化学の教科書
成績評価	課題レポート40%，PBL，SGDへの積極的な参加20%，受講態度40%，ただし出席が60%に満たない場合は評価しない。

2015/03/23(月)14:28

科目名	物理学(Physics)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	2	授業方法	講義	選択必修	総合教育(必修)
科目責任者	小林 宏司		担当者						
授業概要及び目標	基礎物理学で学んだように物理学は，少数の基本的原理・法則から演繹的に、現象を支配するメカニズムの本質に迫る学問であり，その手法や思考は現代文明の礎となっている。薬学の分野においても物理学で発見された現象や原理が数多く応用されている。本講義では物体の運動を詳しく学んだ後，物理学的な諸現象や原理について学ぶことを学習目標とする。								
準備学習の内容	基礎物理学ならびに基礎数学を復習しておくこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	基礎物理学を復習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	エネルギーと仕事について理解し，力学的エネルギー保存則について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
2回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	基礎物理学を復習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	慣性系および非慣性系を理解し，遠心力とコリオリ力について説明できる。また，万有引力の法則を説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
3回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	基礎物理学を復習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	質点系の重心について説明できる。また，運動量保存則を理解し，衝突問題について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
4回	コアカリNo.	C1(2)1-3	担当者	
準備学習[予習]	基礎物理学を復習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	質点系(気体分子)の運動とエネルギーの関係について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
5回	コアカリNo.	C1(2)2-2,5	担当者	
準備学習[予習]	教科書(p.43～51)を予習する。			
到達目標・授業内容(方略)	熱力学の基本的な事象を説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			

6回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書(p.55～70)を予習する。			
到達目標・授業内容(方略)	波の性質と定常波について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
7回	コアカリNo.	C1(1)3-1	担当者	
準備学習[予習]	教科書(p.71～74)を予習する。			
到達目標・授業内容(方略)	電磁波の性質および物質との相互作用を説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
8回	コアカリNo.	C1(1)3-4	担当者	
準備学習[予習]	教科書(p.71～74)を予習する。			
到達目標・授業内容(方略)	光の反射．屈折，偏向および旋光性について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
9回	コアカリNo.	C1(1)3-5	担当者	
準備学習[予習]	LMSから講義資料を取得し予習すること。			
到達目標・授業内容(方略)	光の散乱および干渉について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
10回	コアカリNo.	C1(1)3-6	担当者	
準備学習[予習]	LMSから講義資料を取得し予習すること。			
到達目標・授業内容(方略)	物質の様々な結晶構造を説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
11回	コアカリNo.	C1(1)3-6	担当者	
準備学習[予習]	LMSから講義資料を取得し予習すること。			
到達目標・授業内容(方略)	X線の回折現象から物質の結晶構造を説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
12回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書(p.77～82)を予習する。			
到達目標・授業内容(方略)	電荷，電場および電位について説明できる。また，クーロンの法則について説明できる。			
事後学習				

[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
13回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書(p.82～88)を予習する。			
到達目標・授業内容(方略)	電気抵抗および電気容量について説明できる。また，コンデンサーの原理およびオームの法則について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
14回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書(p.75～91)を予習する。			
到達目標・授業内容(方略)	電気と磁気の関係について説明できる。また，電磁気に関する問題を解くことができる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			
15回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書(p.93～103)を予習する。			
到達目標・授業内容(方略)	電子および原子核の構造について説明できる。また，光の粒子性について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、小テストを解き直すこと。			

履修上の注意・受講生への要望	毎回行う小テストで形成的評価をし、成績評価に反映させます。したがって，出席数が成績評価に影響します。
教科書	(書名)プライマリー薬学シリーズ2　薬学の基礎としての物理学 (編集)日本薬学会 (出版)東京化学同人　定価 2,400 円(税別) 上記の教科書において内容が不足する部分は，LMSに講義資料を掲載するので，各自で取得すること。
参考書	
成績評価	定期試験60%，小テスト40%，なお講義中の演習問題に解答した学生には別途得点を与える。

2015/03/23(月)14:28

科目名	微分・積分とその応用(Calculus)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	2	授業方法	講義	選択必修	総合教育(必修)
科目責任者	丹羽 典朗		担当者						
授業概要及び目標	微分積分学は科学を学ぶ者にとって必須の学問である.「微分」は関数を細かく分けて瞬間の変化を見ることであり,「積分」はその瞬間の変化をすべて足し合わせて変化の総量を見ることである. この授業では, 微分および積分の計算がきちんとできるようになることを目標とする.								
準備学習の内容	授業の前に教科書の該当箇所をあらかじめ読み, 知っていること・知らないこと, 分かること・分からないことを認識して授業に臨むこと.								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	教科書の該当する箇所をあらかじめ読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	数列の極限の性質を理解し, 具体的な数列の極限値を求めることができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて, 講義内容を理解できているかを確認する.			
2回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	教科書の該当する箇所をあらかじめ読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	関数の極限の性質を理解し, 具体的な関数の極限値を求めることができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて, 講義内容を理解できているかを確認する.			
3回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	教科書の該当する箇所をあらかじめ読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	微分係数の定義を理解し, 具体的な関数の微分係数を求めることができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて, 講義内容を理解できているかを確認する.			
4回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	教科書の該当する箇所をあらかじめ読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	導関数の定義を理解し, 基本的な関数の導関数を求めることができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて, 講義内容を理解できているかを確認する.			
5回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	教科書の該当する箇所をあらかじめ読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	合成関数の微分法, 逆関数の微分法を用いて, 様々な関数の微分を求めることができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて, 講義内容を理解できているかを確認する.			
6回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗

準備学習[予習]	教科書の該当する箇所をあらかじめ読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	テイラーの定理を理解し，関数のテイラー展開を求めることができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて，講義内容を理解できているかを確認する.			
7回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	教科書の該当する箇所をあらかじめ読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	微分を利用して，関数の増加・減少，極大・極小を調べ，関数のグラフの概形を描くことができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて，講義内容を理解できているかを確認する.			
8回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	教科書の該当する箇所をあらかじめ読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	不定積分の定義を理解し，基本的な関数の不定積分を求めることができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて，講義内容を理解できているかを確認する.			
9回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	教科書の該当する箇所をあらかじめ読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	置換積分法を用いて，不定積分を求めることができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて，講義内容を理解できているかを確認する.			
10回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	教科書の該当する箇所をあらかじめ読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	部分積分法を用いて，不定積分を求めることができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて，講義内容を理解できているかを確認する.			
11回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	教科書の該当する箇所をあらかじめ読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	定積分の定義を理解し，不定積分を用いて定積分を求めることができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて，講義内容を理解できているかを確認する.			
12回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	教科書の該当する箇所をあらかじめ読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	置換積分法を用いて，定積分を求めることができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて，講義内容を理解できているかを確認する.			

13回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	教科書の該当する箇所をあらかじめ読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	部分積分法を用いて，定積分を求めることができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて，講義内容を理解できているかを確認する.			
14回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	教科書の該当する箇所をあらかじめ読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	基本的な広義積分を求めることができる.			
事後学習[復習]	演習問題を解いて，講義内容を理解できているかを確認する.			
15回	コアカリNo.		担当者	丹羽 典朗
準備学習[予習]	教科書の該当する箇所をあらかじめ読んでおくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	基本的な微分方程式を解くことができる.			
事後学習[復習]	定期試験に向け，学んだこと全体を再確認し整理する.			

履修上の注意・受講生への要望	演習問題を解くとき，まず最初は自分自身で考えてみること．自分の頭で考える習慣を身につけてくれることを望む.
教科書	【書　　名】微分積分 （薬学生のための基礎シリーズ2） 【著　　者】高藤 節夫，加藤 末広，丹羽 典朗 【出版社名】培風館 【定　　価】2,300円＋税
参考書	
成績評価	レポート40%， 試験60%

2015/03/23(月)15:16

科目名	自主創造の基礎1(First-Year Seminar 1)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	2	授業方法	講義	選択必修	総合教育(必修)
科目責任者	石毛 久美子		担当者	全教員					
授業概要及び目標	大学入学までの受動的な学習から「自ら考え、行動し、創り上げる」という大学生としての能動的な学修ができるようになるための基本的な資質を育成することを目標とする日本大学全学共通初年次教育科目である。授業を通じて、社会人として学修することの意義やその在り方について理解し,“ 自主創造型パーソン” 育成のための基礎力を身につける。								
準備学習の内容	授業に出席するだけでなく、積極的にSGDに参加できるように、毎回、指定されている予習を必ず実施すること。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	全教員
準備学習[予習]	日本大学FDガイドブック2015－自主創造のためのLearning Guideを読んでくること			
到達目標・授業内容(方略)	「自主創造の基礎1」の学修教育目標を説明することができる。 グループ学修の意義について説明することができる。 コミュニケーションの必要性を説明することができる。 コミュニケーション(情報提供・情報共有)をとることができる。 (グループワーク)			
事後学習[復習]	授業の内容を理解する			
2回	コアカリNo.		担当者	全教員
準備学習[予習]	オンデマンド教材「自主創造の基礎1」を視聴する。 薬学部の歴史について調べておく			
到達目標・授業内容(方略)	大学の学びに予習行動が重要であることを理解できる。 日本大学の教育理念・目的, 日本大学の歴史を説明することができる。 日本大学薬学部の歴史について説明できる。医療において薬学が果たしてきた役割を概説できる。 自分の“ 自主創造型パーソン” 像をイメージすることができる。 (グループワーク)			
事後学習[復習]	授業の内容を理解する			
3回	コアカリNo.		担当者	全教員
準備学習[予習]	オンデマンド教材「自主創造の基礎1」を視聴する。 薬学部の歴史について調べておく			
到達目標・授業内容(方略)	大学の学びに予習行動が重要であることを理解できる。 日本大学の教育理念・目的, 日本大学の歴史を説明することができる。 日本大学薬学部の歴史について説明できる。医療において薬学が果たしてきた役割を概説できる。 自分の“ 自主創造型パーソン” 像をイメージすることができる。 (グループワーク)			
事後学習[復習]	授業の内容を理解する			
4回	コアカリNo.		担当者	全教員
準備学習[予習]	コミュニケーションと取るために必要な項目について調べる			
到達目標・授業内容(方略)	コミュニケーションの基本要素を列挙し説明できる。 相手の話し方の特徴に注意しながら聴くことができる。 コミュニケーションにおける自分と相手の行動特性の違いを認識できる。 自分自身のコミュニケーションの傾向に気付くことができる。 (グループワーク)			
事後学習[復習]	状況や相手に応じた方法でのコミュニケーションを実践する			
5回	コアカリNo.		担当者	全教員

準備学習[予習]	プレゼンテーションの方法を調べる			
到達目標・授業内容(方略)	プレゼンテーションの意味と意義を説明できる。 話合いによって，グループのプレゼンテーションの発表課題を決定する。 プレゼンテーションの内容をレジュメに要約できる。 プレゼンテーション用のポスター(←「の作成方法を修得する」)を作成することができる。 ポスターによるプレゼンテーションの方法を修得できる。 (グループワーク)			
事後学習[復習]	ポスターの作成方法をまとめる			
6回	コアカリNo.		担当者	全教員
準備学習[予習]	作成するポスターの素案をまとめる			
到達目標・授業内容(方略)	プレゼンテーションに則したポスターを作成する。			
事後学習[復習]	ポスターを完成させる			
7回	コアカリNo.		担当者	全教員
準備学習[予習]	プレゼンテーションを組み立てる。			
到達目標・授業内容(方略)	相手にわかりやすい話し方で，プレゼンテーションができる。 自分の主張や考え方を，順序立てて説明することができる。 相手にわかりやすいプレゼンテーションの仕方を修得できる。 プレゼンテーションを正しく評価することができる。 (グループワーク)			
事後学習[復習]	わかりやすいプレゼンテーションを実践する。			
8回	コアカリNo.	A(5)①3～5	担当者	全教員
準備学習[予習]	日本大学FDガイドブック2015－自主創造のためのLearning Guideを読んでくること			
到達目標・授業内容(方略)	薬学部の実習における報告書の書き方を修得する。 必要な情報を的確に収集し、信憑性について判断できる 得られた情報を論理的に統合・整理し、自らの考えとともにわかりやすく表現できる インターネット上の情報が持つ意味・特徴を知り、情報倫理、情報セキュリティに配慮して活用できる			
事後学習[復習]	報告書の書き方を実践する			
9回	コアカリNo.	A(5)①4	担当者	全教員
準備学習[予習]	日本大学FDガイドブック2015－自主創造のためのLearning Guideを読んでくること			
到達目標・授業内容(方略)	薬学部の学生に必要なノートの取り方、レポートの書き方を修得する。 得られた情報を論理的に統合・整理し、自らの考えとともにわかりやすく表現できる			
事後学習[復習]	ノートの取り方、レポートの書き方を実践する			
10回	コアカリNo.		担当者	全教員
準備学習[予習]	プレゼンテーションソフト(PowerPoint)の起動を確認する。			
到達目標・授業内容(方略)	プレゼンテーションソフト(PowerPoint)の概要を理解し，発表用スライドを作成することができる。			
事後学習[復習]	講義中に作成したスライドの体裁を整え完成させる。			
11回	コアカリNo.	A(2)②8	担当者	全教員
準備学習	与えられた課題についての下調べを行う。			

[予習]				
到達目標・授業内容(方略)	グループワークの手順を述べることができる。 グループワークの役割を述べることができる。 グループワークでの討議を行うことができる。 グループワークの情報共有を行うことができる。 グループワークの意義について説明できる。 課題についてKJ法を用いてグループで議論し，内容をまとめることができる。(SGD)[問題解決型学習]			
事後学習[復習]	グループで議論した内容をまとめ，次回の議論に提案する事項を準備する。			
12回	コアカリNo.	A(2)②8	担当者	全教員
準備学習[予習]	各自で準備した事項について提案方法を検討する。			
到達目標・授業内容(方略)	グループ発表資料を準備することができる。 グループ発表の環境を説明することができる。 (グループワーク)[問題解決型学習]			
事後学習[復習]	講義中に議論された内容をまとめ，スライドの作成に必要となるコンテンツを確認する。			
13回	コアカリNo.	A(2)②8	担当者	全教員
準備学習[予習]	スライドの作成に必要となるコンテンツを準備する。			
到達目標・授業内容(方略)	グループ発表資料を準備することができる。 グループ発表の環境を説明することができる。 (グループワーク)[問題解決型学習]			
事後学習[復習]	発表用スライドを完成させ、LMSへの提出を完了する。			
14回	コアカリNo.	A(2)②8	担当者	全教員
準備学習[予習]	効果的な発表を行うための発表原稿を作成し，スライドの操作について練習を行う。			
到達目標・授業内容(方略)	グループ発表を行うことができる。 グループ発表で質疑応答を行うことができる。 グループ発表を評価することができる。			
事後学習[復習]	発表会を振り返って，作成したスライドを再検証する。			
15回	コアカリNo.		担当者	全教員
準備学習[予習]	14回までの授業内容を振り返っておく			
到達目標・授業内容(方略)	「自主創造の基礎1」の意義について説明することができる。 修得した知識，技能，態度について自己評価することができる。 他者が修得した能力を評価することができる。 学修には目標を立てて計画することが重要であることを説明することができる。 一般目標(GIO)と行動目標(SBOs)に基づいて自分の学修計画を設計することができる。			
事後学習[復習]	大学生として積極的に学修していく			

履修上の注意・受講生への要望	予習・復習を必ず実施し、積極的に授業に参加してください。なお、講義の内容上、第10回から第14回の授業に関してはPCを必ず持参してください。
教科書	(書　名)日本大学FDガイドブック2015－自主創造のためのLearning Guide (著者名)(入学時に配布されたもの)
参考書	(書　　名)すぐわかる Office 2013 (著 者 名)阿部ヒロコ他 (出版社名)アスキー・メディアワークス (定　　価)1,880円(税込)
成績評価	平常態度:80%、提出物:20% 本科目はGPA算出の対象外とする

2015/03/23(月)15:15

科目名	自主創造の基礎2(First-Year Seminar 2)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	2	授業方法	講義	選択必修	総合教育(必修)
科目責任者	福岡 憲泰		担当者	伊藤 芳久、飯島 洋、白神 誠、林 宏行、安川 憲、安部 恵、大場 延浩、三枝 良安、北中 進、草間 貞、小川 敦(非常勤講師)					
授業概要及び目標	大学生としての基本的な資質を育成すること、すなわち社会人として学修することの意義やあり方を授業を通じて理解し、薬剤師として「自主創造型パーソン」を育成する能動的な学修を導く。								
準備学習の内容	薬学の発展, 薬局, 病院, 製薬企業, 衛生行政における薬剤師の活動や役割について調べておくこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.	A(1) 4-1, 2	担当者	北中 進
準備学習[予習]	薬用植物学の知識を確認しておく。			
到達目標・授業内容(方略)	薬学の歴史的な流れと医療において薬学が果たしてきた役割について説明できる。 薬物療法の歴史と、人類に与えてきた影響について説明できる。			
事後学習[復習]	授業内容についてレポートを作成する。			
2回	コアカリNo.	A(1) 4-3	担当者	北中 進
準備学習[予習]	薬用植物学の知識を確認しておく。			
到達目標・授業内容(方略)	薬物療法の歴史と、人類に与えてきた影響について説明できる。			
事後学習[復習]	授業内容についてレポートを作成する。			
3回	コアカリNo.	A(5) 2-1,2	担当者	草間 貞
準備学習[予習]	講義資料をLMSからダウンロードし, 予習しておく。			
到達目標・授業内容(方略)	「薬剤師として求められる基本的な資質」について, 具体例を挙げて説明できる。 薬学が総合科学であることを認識し, 薬剤師の役割と学習内容を関連づける。			
事後学習[復習]	講義内容について復習しておく。			
4回	コアカリNo.	A(1) 2-3	担当者	小川 敦
準備学習[予習]	医薬品の適正使用およびファーマシューティカルケアについて調べておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	医薬品の適正使用における薬剤師の役割とファーマシューティカルケアについて説明できる。			
事後学習[復習]	薬剤師として医薬品の適正使用, ファーマシューティカルケアへの関わりをまとめておくこと。			
5回	コアカリNo.	A(1) 2-4, A(1) 3-1,2	担当者	大場 延浩
準備学習[予習]	医薬品の臨床試験に関する情報について調べておく。			
到達目標・授業内容(方略)	医薬品の効果測定の指標について概説できる。医薬品のリスクとベネフィットの観点から, 患者安全について概説できる。			
事後学習[復習]	講義中の内容について復習しておく。			
6回	コアカリNo.	A(1) 2-5	担当者	飯島 洋

準備学習[予習]	前回までの講義の内容を復習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	医薬品候補物質を見つける/生み出す, 安全な医薬品として開発する, 医療現場で使用する, 安全性を確認する, 適正な使用をするといった過程に薬学という学問領域が深く関連していることを概説する。薬剤師が医薬品の研究, 開発, 生産に果たす役割も概説する。			
事後学習[復習]	復習用プリントで要点を復習しておくこと。			
7回	コアカリNo.	A(1) 2-6	担当者	安川 憲
準備学習[予習]	セルフケア・ヘルスプロモーションについて調べておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	健康管理, 疾病予防, セルフメディケーション及び公衆衛生における薬剤師の役割について説明できる。(講義)			
事後学習[復習]	学んだ事から自分や家族の生活習慣について, 薬剤師が指導する事を考察する。			
8回	コアカリNo.	A(1) 2-7	担当者	伊藤 芳久
準備学習[予習]	千葉県警察ホームページの薬物乱用防止教室 http://www.police.pref.chiba.jp/safe_life/overuse_drugs/ をあらかじめ見ておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	薬物乱用防止、自殺防止における薬剤師の役割について説明できる。			
事後学習[復習]	自分が将来薬剤師になったときに, 薬物乱用防止, 自殺防止に関してどのような貢献が出来るかについて考え, まとめておくこと。			
9回	コアカリNo.	A(1)3-3, 4	担当者	福岡 憲泰
準備学習[予習]	医療において医薬品を用いる理由について考えておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	医療に関するリスクマネジメントにおける薬剤師の責任と義務を説明できる。 医薬品が関わる代表的な医療過誤やインシデントの事例を列挙し、その原因と防止策を説明できる。			
事後学習[復習]	薬剤師として医薬品に係る事故の防止策についてまとめておくこと。			
10回	コアカリNo.	A(1)3-5, 6, 7	担当者	林 宏行, 外部講師
準備学習[予習]	薬害の具体例について調べておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	重篤な副作用の例について, 患者や家族の苦痛を理解し, これらを回避するための手段を討議する。(知識・態度) 代表的な薬害について, 患者や家族の苦痛を理解し, これらを回避するための手段を討議する。(知識・態度) 代表的な薬害の例(サリドマイド, スモン, 非加熱血液製剤, ソリブジン等)について, その原因と社会的背景及びその後の対応を説明できる。			
事後学習[復習]	薬害被害者の薬剤師に対する意見をまとめておくこと。			
11回	コアカリNo.	A(1)3-5, 6, 7	担当者	林 宏行
準備学習[予習]	薬害の具体例について調べておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	重篤な副作用の例について, 患者や家族の苦痛を理解し, これらを回避するための手段を討議する。(知識・態度) 代表的な薬害について, 患者や家族の苦痛を理解し, これらを回避するための手段を討議する。(知識・態度) 代表的な薬害の例(サリドマイド, スモン, 非加熱血液製剤, ソリブジン等)について, その原因と社会的背景及びその後の対応を説明できる。			
事後学習[復習]	薬害被害者の薬剤師に対する意見をまとめておくこと。			
12回	コアカリNo.	A(1) 2-2～7, A(1) 4-3	担当者	白神 誠
準備学習[予習]	将来どういう薬剤師になりたいかを考える。			
到達目標・授業内容(方略)	薬剤師が様々な分野で活躍していることを理解し, 自分自身が薬剤師としてどのように世の中に貢献できるのかを考える。			

事後学習[復習]	講義を聞いて，将来どういう薬剤師になりたいかを考える。			
13回	コアカリNo.	A(1) 2-2	担当者	安部　恵
準備学習[予習]	薬局における薬剤師の活動にはどのようなものがあるか調べておく。			
到達目標・授業内容(方略)	薬局における薬剤師の職能、役割を理解し、どのように社会へ貢献できるのか考える。			
事後学習[復習]	将来薬局薬剤師になった際、どのような活動をするか、そのためには何をしていくべきかを考えまとめておく。			
14回	コアカリNo.	A(1) 2-2	担当者	三枝　良安
準備学習[予習]	薬剤師の活動分野としての病院，およびその中における薬剤師の業務について調べておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	病院において薬剤師が薬の専門家として活動することについて概説できる。			
事後学習[復習]	病院における薬剤師の役割と業務についてまとめておくこと。			
15回	コアカリNo.	A(1) 4-4	担当者	福岡　憲泰
準備学習[予習]	「薬剤師」および「自主創造パーソン」について授業で修得したことをまとめておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	将来の薬剤師と薬学が果たす役割について討議する。(知識・態度) 「自主創造の基礎2」の意義について説明できる。 修得した知識，技能，態度について客観的に自己評価ができる。			
事後学習[復習]	薬剤師として「自主創造パーソン」を目指すための目標と学修計画についてまとめておくこと。			

履修上の注意・受講生への要望	初年次教育科目として「学生参加型」の授業であるので，積極的に発言することを心がけてほしい。 「自分が自ら気づき学び行動することができる」の目標に対して，何を学修することができたかを自己評価する姿勢をもって授業に臨んでほしい。
教科書	教科書は用いず、基本として配布する資料(プリント等)とする。
参考書	特になし。
成績評価	理由なく6回以上欠席した場合は評価しない。 「自己評価点数記入表」を用いて評価する。

2015/03/23(月)14:28

科目名	法学入門(Introduction to Jurisprudence)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	2	授業方法	講義	選択必修	総合教育(必修)
科目責任者	高須 則行(非常勤講師)		担当者						
授業概要及び目標	現代社会における紛争解決で重要視されている裁判制度とその法的思考の道具立てを理解し、それが現実の社会の中でどのように機能しているかを理解してもらうことを目標とする。								
準備学習の内容	基本的概念を理解することと新聞等で社会問題に関心を持っておくこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	ガイダンス			
到達目標・授業内容(方略)	私たちの日常生活と法との関係について学ぶ。			
事後学習[復習]	様々な法について説明することができる。			
2回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を読んでおく			
到達目標・授業内容(方略)	明治期にわが国に輸入された近代法について学ぶ。			
事後学習[復習]	どのような理由で近代法がわが国に輸入されたのかを説明できる。			
3回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を読んでおく			
到達目標・授業内容(方略)	法的責任について学ぶ。			
事後学習[復習]	民事責任・刑事責任・行政責任について説明することができる。			
4回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を読んでおく			
到達目標・授業内容(方略)	裁判の種類(民事訴訟・刑事訴訟・行政訴訟)について学ぶ:			
事後学習[復習]	裁判の種類について説明できる。			
5回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を読んでおく			
到達目標・授業内容(方略)	裁判所の種類(地方裁判所・高等裁判所・最高裁判所:三審制)について学ぶ。			
事後学習[復習]	裁判所の種類について説明できる。			
6回	コアカリNo.		担当者	

準備学習[予習]	教科書の該当箇所を読んでおく			
到達目標・授業内容(方略)	裁判における法的判断(判決)の作法について学ぶ。			
事後学習[復習]	法的三段論法に説明するできる。			
7回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を読んでおく			
到達目標・授業内容(方略)	法の形式(成文法)とその種類(憲法・法律・命令等)について学ぶ。(その1)			
事後学習[復習]	法の形式と種類を説明できる。			
8回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を読んでおく			
到達目標・授業内容(方略)	法の形式(成文法)とその種類(憲法・法律・命令等)について学ぶ。(その2)			
事後学習[復習]	法の形式と種類を説明できる。			
9回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を読んでおく			
到達目標・授業内容(方略)	犯罪とされるための要件について学ぶ。(その1)			
事後学習[復習]	行為性・構成要件該当性について説明できる。			
10回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を読んでおく			
到達目標・授業内容(方略)	犯罪とされるための要件について学ぶ。(その2)			
事後学習[復習]	違法性・責任性について説明できる。			
11回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を読んでおく			
到達目標・授業内容(方略)	裁判員制度について学ぶ。			
事後学習[復習]	裁判員制度について説明できる。			
12回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を読んでおく			
到達目標・授業内容(方略)	法解釈の様々な方法について学ぶ。			
事後学習[復習]	文理解釈・拡張解釈・縮小解釈・目的論的解釈について説明できる。			

13回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を読んでおく			
到達目標・授業内容(方略)	法の解釈の成果としての判例法について学ぶ。(その1)			
事後学習[復習]	有責配偶者に関する判例法を説明することができる。			
14回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を読んでおく			
到達目標・授業内容(方略)	法の解釈の成果としての判例法について学ぶ。(その2)			
事後学習[復習]	代理母に関する判例を説明することができる。			
15回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を読んでおく			
到達目標・授業内容(方略)	法の解釈の成果としての判例法について学ぶ。(その3)			
事後学習[復習]	死刑に関するの判決について説明することができる。			

履修上の注意・受講生への要望	授業に出席し、話を聞き、板書を取ること。理由なく5回以上欠席した場合には、試験受験の有無にかかわらず、評価しない。
教科書	(書　　名)『新法学入門[第2版]』 (著 者 名)山川一陽・船山泰範・根田正樹編著 (出版社名)弘文堂 (定　　価)3,024円(税込)
参考書	(書　　名)『法学の基礎[第2版]』 (著 者 名)団藤重光 (出版社名)有斐閣 (定　　価)3,888円(税込)
成績評価	定期試験(100%)に基づき、評価する。ただし、理由なく5回以上欠席した場合には、試験受験の有無にかかわらず、評価しない。

2015/03/23(月)14:29

科目名	心の探究(Basic Psychology)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	2	授業方法	講義	選択必修	総合教育(必修)
科目責任者	石村 郁夫(非常勤講師)		担当者						
授業概要及び目標	心理学で扱われるテーマは幅広く、多様な分野から成り立っている。本授業では、数あるテーマのうちから、人のこころのはたらきや行動に関するこれまでの知見や代表的な理論を紹介する。これらの理解を通して、他者とのコミュニケーションに役立つ知識を習得する。								
準備学習の内容	心を探求する入口として、心理学の入門書『図説 心理学入門』(誠信書房)を読んでおくこと								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を熟読し、関連のテーマを調べておくこと			
到達目標・授業内容(方略)	感覚・知覚　人がどのように外界をとらえているかを理解する			
事後学習[復習]	以降、毎講義のはじめに小テストを行うので復習しておくこと			
2回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を熟読し、関連のテーマを調べておくこと			
到達目標・授業内容(方略)	記憶　人の記憶にはどのような種類や特徴があるのかを理解する			
事後学習[復習]	以降、毎講義のはじめに小テストを行うので復習しておくこと			
3回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を熟読し、関連のテーマを調べておくこと			
到達目標・授業内容(方略)	学習　経験や学習によって人の行動が変化することを理解する			
事後学習[復習]	以降、毎講義のはじめに小テストを行うので復習しておくこと			
4回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を熟読し、関連のテーマを調べておくこと			
到達目標・授業内容(方略)	動機づけ　人の欲求や情動のはたらきを理解する			
事後学習[復習]	以降、毎講義のはじめに小テストを行うので復習しておくこと			
5回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を熟読し、関連のテーマを調べておくこと			
到達目標・授業内容(方略)	知能　知能とは何か、どのように査定されるのかを理解する			
事後学習[復習]	以降、毎講義のはじめに小テストを行うので復習しておくこと			

6回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を熟読し、関連のテーマを調べておくこと			
到達目標・授業内容(方略)	発達　乳幼児期の発達と親の養育行動について理解する			
事後学習[復習]	以降、毎講義のはじめに小テストを行うので復習しておくこと			
7回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を熟読し、関連のテーマを調べておくこと			
到達目標・授業内容(方略)	教育・学校　児童期の子どもの発達と生徒児童の心理について理解する			
事後学習[復習]	以降、毎講義のはじめに小テストを行うので復習しておくこと			
8回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を熟読し、関連のテーマを調べておくこと			
到達目標・授業内容(方略)	自己　防衛機制や自我同一性の概念を学び、自己理解を深める			
事後学習[復習]	以降、毎講義のはじめに小テストを行うので復習しておくこと			
9回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を熟読し、関連のテーマを調べておくこと			
到達目標・授業内容(方略)	パーソナリティ　人格とは何か、どのような種類や特徴があるのかを理解する			
事後学習[復習]	以降、毎講義のはじめに小テストを行うので復習しておくこと			
10回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を熟読し、関連のテーマを調べておくこと			
到達目標・授業内容(方略)	健康　ストレス、怒り、悲嘆への反応とその対処法について理解する			
事後学習[復習]	以降、毎講義のはじめに小テストを行うので復習しておくこと			
11回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を熟読し、関連のテーマを調べておくこと			
到達目標・授業内容(方略)	老年　老年期における課題とその心理について理解する			
事後学習[復習]	以降、毎講義のはじめに小テストを行うので復習しておくこと			
12回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を熟読し、関連のテーマを調べておくこと			
到達目標・授業内容(方略)	対人社会　人の印象がどのように形作られるのかについて理解する			
事後学習				

[復習]	以降、毎講義のはじめに小テストを行うので復習しておくこと			
13回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を熟読し、関連のテーマを調べておくこと			
到達目標・授業内容(方略)	集団　集団における人の行動の特徴を理解する			
事後学習[復習]	以降、毎講義のはじめに小テストを行うので復習しておくこと			
14回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を熟読し、関連のテーマを調べておくこと			
到達目標・授業内容(方略)	臨床　精神疾患の種類と特徴を理解する			
事後学習[復習]	以降、毎講義のはじめに小テストを行うので復習しておくこと			
15回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	教科書の該当箇所を熟読し、関連のテーマを調べておくこと			
到達目標・授業内容(方略)	カウンセリング　カウンセリングで使用される技能を理解する			
事後学習[復習]	以降、毎講義のはじめに小テストを行うので復習しておくこと			

履修上の注意・受講生への要望	授業内容を理解するために準備学習は積極的に行ってください。また、授業内容から具体的・共感的に想像できる態度を養ってください。
教科書	使用しない。毎回、参考資料を配布する。
参考書	講義内で適宜紹介する。
成績評価	事前学習課題15%、事後学習課題15%、定期試験70%で総合的に評価します。

2015/03/23(月)15:14

科目名	英語I(English I)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	1	授業方法	講義	選択必修	外国語
科目責任者	金子 利雄		担当者	板垣 正					
授業概要及び目標	薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を修得する。								
準備学習の内容	本文の和訳とそれに伴う新出語彙の意味、発音を辞書で調べておくこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	板垣 正
準備学習[予習]	テキスト購入と「はしがき」を読む			
到達目標・授業内容(方略)	オリエンテーション(授業の進め方についての説明)			
事後学習[復習]	薬学準備教育ガイドラインを読む			
2回	コアカリNo.		担当者	板垣 正
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 1: White Coat Ceremonies			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
3回	コアカリNo.		担当者	板垣 正
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 1: White Coat Ceremonies			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
4回	コアカリNo.		担当者	板垣 正
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 2: International Pharmaceutical Students' Federation			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
5回	コアカリNo.		担当者	板垣 正
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 2: International Pharmaceutical Students' Federation			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
6回	コアカリNo.		担当者	板垣 正

準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 3: The Story Behind the Discovery of the Fullerene			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
7回	コアカリNo.		担当者	板垣 正
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 3: The Story Behind the Discovery of the Fullerene			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
8回	コアカリNo.		担当者	金子 利雄
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 4: Acid Rain			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
9回	コアカリNo.		担当者	金子 利雄
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 4: Acid Rain			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
10回	コアカリNo.		担当者	金子 利雄
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 5: DNA			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
11回	コアカリNo.		担当者	金子 利雄
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 5: DNA			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
12回	コアカリNo.		担当者	金子 利雄
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 6: The Nobel Prize in Chemistry (2001)			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			

13回	コアカリNo.		担当者	金子 利雄
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 6: The Nobel Prize in Chemistry (2001)			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
14回	コアカリNo.		担当者	金子 利雄
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 7: The Race to Synthesize Taxol			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
15回	コアカリNo.		担当者	金子 利雄
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 7: The Race to Synthesize Taxol			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			

履修上の注意・受講生への要望	英語の文章暗記が将来の英語力の基礎となります。将来のキャリアの選択肢を広げるために英語力は不可欠です。しっかり英語と向き合って下さい。
教科書	薬学英語入門 日本薬学会編 東京化学同人 （定価） 2,800円（税別）
参考書	講義の中で紹介します。
成績評価	定期試験100%。ただし出席が全体の80%に満たない場合は試験受験に関わらず評価しない。

2015/03/23(月)15:12

科目名	英語II(English II)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	1	授業方法	講義	選択必修	外国語
科目責任者	金子 利雄		担当者						
授業概要及び目標	薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を修得する。								
準備学習の内容	本文の和訳とそれに伴う新出語彙の意味、発音を辞書で調べておくこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	金子利雄
準備学習[予習]	前期試験問題をもう一度解いてみる			
到達目標・授業内容(方略)	Introduction (前期試験の結果と解答解説)			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
2回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 8: Copper			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
3回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 8: Copper			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
4回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 9: Bacteria			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
5回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 10: Living with Parkinson's Disease			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
6回	コアカリNo.		担当者	

準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 11: The Science of Drug Abuse & Addiction			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
7回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 12: Allergies			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
8回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 13: E. coli			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
9回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 15: A Drug's Life			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
10回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 16: Anti-Cancer Drugs			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
11回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 17: Medicines for the Future			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
12回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 18: Nanotechnology and Drug Delivery			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			

13回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 19: Inside Clinical Trials			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
14回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 20: Self-Medication			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			
15回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	本文の和訳と新出単語の意味と発音を調べる。			
到達目標・授業内容(方略)	Chapter 20: Self-Medication			
事後学習[復習]	英文を暗記するくらい音読する			

履修上の注意・受講生への要望	薬剤師に英語力は不可欠です。「鉄は熱いうちに打て」と言います。しっかり英語と向き合って下さい。
教科書	薬学英語入門 日本薬学会編 東京化学同人 (定価) 2,800円(税別)
参考書	講義の中で紹介します。
成績評価	定期試験100%。ただし、出席が全体の80%に満たない場合は、試験受験の有無に関わらず評価しない。

2015/03/23(月)15:13

科目名	英語会話I(Communication in English I)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	1	授業方法	講義	選択必修	外国語
科目責任者	Gordon M.Sites(非常勤講師)		担当者						
授業概要及び目標	Students will develop their listening and communication skills by speaking about various topics ranging from experiences to current affairs. The instructor has hand-selected a textbook which he feels will give the students a chance to listen to and converse about various topical issues. Each class will begin with a warmup conversation activity, followed by a brief lecture covering the grammar and vocabulary points, followed by several listening and discussion activities. Students will frequently be given writing homework activities to demonstrate their knowledge and opinions of the listening activities in class. There are 10 homework assignments each semester. Students are expected to complete 8 of the 10 assignments (Students can choose which ones to do). There will also be periodic tests and quizzes to access students' progress.								
準備学習の内容	The students are expected to keep an A4 file to keep all handouts, assignments, and other materials. Tests and quizzes will be handed back in class, and students are expected to keep these records and materials in their A4 folders. Students should purchase the textbook and familiarize themselves with the layout and format before the first class.								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Be prepared to describe friends in class. Think of 10 adjectives which you will use in class.			
到達目標・授業内容(方略)	Unit 1: The way we are - Describing Personalities using adjectives and adverbs			
事後学習[復習]	Unit 1: Homework Assignment			
2回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Notice the difference between adjectives and adverbs and their grammatical construction.			
到達目標・授業内容(方略)	Unit 1 Continued. Review for quiz on Unit 1 next week.			
事後学習[復習]	Study for unit 1 quiz - Unit 1 (part 2) Homework assignment			
3回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Think about the most important experiences of your life.			
到達目標・授業内容(方略)	Quiz 1 – Unit 2: Experiences. Describing life moments using present perfect.			
事後学習[復習]	Unit 2: Homework Assignment			
4回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Notice the difference between present perfect questions and statements.			
到達目標・授業内容(方略)	Unit 2 Continued. Review for quiz on Unit 2 next week.			
事後学習[復習]	Study for unit 1 quiz - Unit 1 (part 2) Homework assignment.			
5回	コアカリNo.		担当者	
準備学習	Think about what is the most beautiful place in Japan. How would you describe it?			

[予習]				
到達目標・授業内容(方略)	Quiz 2 – Unit 3: Wonders of the world. Describing countries.			
事後学習[復習]	Unit 3: Homework Assignment			
6回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Notice the difference between superlatives that use more/most and er/est			
到達目標・授業内容(方略)	Unit 3 Continued. Review for test next week covering units 1-3.			
事後学習[復習]	No homework. Please use your time to study for test 1.			
7回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Review units 1-3 for test 1.			
到達目標・授業内容(方略)	Test 1 (Units 1-3)			
事後学習[復習]	No homework. Please be prepared to talk about family life next week.			
8回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Please look over unit 4 before class.			
到達目標・授業内容(方略)	Unit 4: Family life - Describing family using verbs (let, make, help, have, etc.)			
事後学習[復習]	Unit 4: Homework Assignment			
9回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Notice the difference between used to, use to, and would.			
到達目標・授業内容(方略)	Unit 4 Continued. Review for quiz on Unit 4 next week.			
事後学習[復習]	Study for unit 4 quiz - Unit 4 (part 2) Homework assignment			
10回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Think about what you eat during one week.			
到達目標・授業内容(方略)	Quiz 3 – Unit 5: Food choices. Becoming familiar with countable and uncountable nouns.			
事後学習[復習]	Unit 5: Homework Assignment			
11回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Notice how quantifiers are used with countable and uncountable nouns.			
到達目標・授業内容(方略)	Unit 5 Continued. Review for quiz on Unit 5 next week.			
事後学習[復習]	Study for unit 5 quiz - Unit 5 (part 2) Homework assignment.			
12回	コアカリNo.		担当者	

準備学習[予習]	Think about what your life will be like in 10 years. What will be different from now?			
到達目標・授業内容(方略)	Quiz 4 – Unit 6: Managing life. Describing future events and giving advice.			
事後学習[復習]	Unit 6: Homework Assignment			
13回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Notice the difference between degrees of advice (had better, ought to, might want to, etc.)			
到達目標・授業内容(方略)	Unit 6 Continued. Review for test next week covering units 4-6.			
事後学習[復習]	No homework. Please use your time to study for test 2.			
14回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Review units 4-6 for test 2.			
到達目標・授業内容(方略)	Test 2 (Units 4-6)			
事後学習[復習]	Please review all units 1-6 for mid-term test.			
15回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Please review all units 1-6 for mid-term test.			
到達目標・授業内容(方略)	Review Activities for Units 1-6 / Prepping for mid-term exam.			
事後学習[復習]	Students are expected to use their time studying for mid-term exam.			

履修上の注意・受講生への要望	Students who miss classes are expected to makeup missed assignments. If makeup assignments are not completed, it will result in 0. Students who sleep throughout class will be given an absent mark for the class. Students need to be in attendance of at least 2/3 of the classes to pass the course. Missed classes will affect performance and overall grade in the class. Please be aware of this.
教科書	（書　　名） Touchstone 3: Student book (ISBN: 978-1-107-66583-5) （著 者 名） Michael McCarthy, Jeanne McCarten, Helen Sandiford （出版社名） Cambridge （定　　価） 2,861円（税込）
参考書	
成績評価	Quizzes (30%); Tests (30%); Mid-term Test (20%); Homework (10%); Participation (10%) When absenting oneself more than 5 times without a reason, I don't mark in spite of taking the examination.

2015/03/23(月)15:13

科目名	英語会話II(Communication in English II)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	1	授業方法	講義	選択必修	外国語
科目責任者	Gordon M.Sites(非常勤講師)		担当者						
授業概要及び目標	Students will develop their listening and communication skills by speaking about various topics ranging from experiences to current affairs. The instructor has hand-selected a textbook which he feels will give the students a chance to listen to and converse about various topical issues. Each class will begin with a warmup conversation activity, followed by a brief lecture covering the grammar and vocabulary points, followed by several listening and discussion activities. Students will frequently be given writing homework activities to demonstrate their knowledge and opinions of the listening activities in class. There are 10 homework assignments each semester. Students are expected to complete 8 of the 10 assignments (Students can choose which ones to do). There will also be periodic tests and quizzes to access students' progress.								
準備学習の内容	The students are expected to keep an A4 file to keep all handouts, assignments, and other materials. Tests and quizzes will be handed back in class, and students are expected to keep these records and materials in their A4 folders. Students should purchase the textbook and familiarize themselves with the layout and format before the first class.								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Read over Unit 7 and be prepared to describe your friends using relative clauses.			
到達目標・授業内容(方略)	Unit 7: Relationships – Relative clauses and Phrasal verbs			
事後学習[復習]	Unit 7: Homework Assignment			
2回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Think about how phrasal verbs are used in English and Japanese. What are the similarities/ differences?			
到達目標・授業内容(方略)	Unit 7 Continued. Review for quiz on Unit 1 next week.			
事後学習[復習]	Study for unit 7 quiz - Unit 7 (part 2) Homework assignment			
3回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Be prepared to talk about wishes and imaginary situations.			
到達目標・授業内容(方略)	Quiz 1 – Unit 8: What if? - Expressions with verbs and prepositions.			
事後学習[復習]	Unit 8: Homework Assignment			
4回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Notice the difference between wishes in the present vs. future tense.			
到達目標・授業内容(方略)	Unit 8 Continued. Review for quiz on Unit 2 next week.			
事後学習[復習]	Study for unit 8 quiz - Unit 8 (part 2) Homework assignment.			
5回	コアカリNo.		担当者	
準備学習	Be prepared to talk about technology in class.			

[予習]				
到達目標・授業内容(方略)	Quiz 2 – Unit 9: Tech savvy – Phrasal verbs talking about technology.			
事後学習[復習]	Unit 9: Homework Assignment			
6回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Notice how questions are inserted within sentences.			
到達目標・授業内容(方略)	Unit 9 Continued. Review for test next week covering units 7-9.			
事後学習[復習]	No homework. Please use your time to study for test 1.			
7回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Review units 7-9 for test 1.			
到達目標・授業内容(方略)	Test 1 (Units 7-9)			
事後学習[復習]	No homework. Please be prepared to talk about movies next week.			
8回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Please look over unit 10 before class.			
到達目標・授業内容(方略)	Unit 10: What's up? - Expressions to talk about movies.			
事後学習[復習]	Unit 10: Homework Assignment			
9回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Notice the difference between “since” and “for”.			
到達目標・授業内容(方略)	Unit 10 Continued. Review for quiz on Unit 4 next week.			
事後学習[復習]	Study for unit 10 quiz - Unit 10 (part 2) Homework assignment			
10回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Be prepared to talk about feelings in class.			
到達目標・授業内容(方略)	Quiz 3 – Unit 11: Impressions – Feelings and reactions.			
事後学習[復習]	Unit 11: Homework Assignment			
11回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Look over modal verbs (must, may, might, can't, and could)			
到達目標・授業内容(方略)	Unit 11 Continued. Review for quiz on Unit 11 next week.			
事後学習[復習]	Study for unit 11 quiz - Unit 11 (part 2) Homework assignment.			
12回	コアカリNo.		担当者	

準備学習[予習]	Notice the difference between adjectives ending in “ed” and “ing”.			
到達目標・授業内容(方略)	Quiz 4 – Unit 12: In the news – Talking about weather.			
事後学習[復習]	Unit 12: Homework Assignment			
13回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Notice how adverbs are used with passive sentences.			
到達目標・授業内容(方略)	Unit 12 Continued. Review for test next week covering units 10-12.			
事後学習[復習]	No homework. Please use your time to study for test 2.			
14回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Review units 10-12 for test 2.			
到達目標・授業内容(方略)	Test 2 (Units 10-12)			
事後学習[復習]	Please review all units 7-12 for mid-term test.			
15回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	Please review all units 7-12 for mid-term test.			
到達目標・授業内容(方略)	Review Activities for Units 7-12 / Prepping for mid-term exam.			
事後学習[復習]	Students are expected to use their time studying for mid-term exam.			

履修上の注意・受講生への要望	Students who miss classes are expected to makeup missed assignments. If makeup assignments are not completed, it will result in 0. Students who sleep throughout class will be given an absent mark for the class. Students need to be in attendance of at least 2/3 of the classes to pass the course. Missed classes will affect performance and overall grade in the class. Please be aware of this.
教科書	(書　　名)Touchstone 3: Student book (ISBN: 978-1-107-66583-5) (著 者 名)Michael McCarthy, Jeanne McCarten, Helen Sandiford (出版社名)Cambridge (定　　価)2,861円(税込)
参考書	
成績評価	Quizzes (30%); Tests (30%); Mid-term Test (20%); Homework (10%); Participation (10%) When absenting oneself more than 5 times without a reason, I don't mark in spite of taking the examination.

2015/03/23(月)14:29

科目名	ドイツ語I(German I)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	1	授業方法	講義	選択必修	外国語
科目責任者	山崎 良介(非常勤講師)		担当者						
授業概要及び目標	ドイツ文法を基礎に、「読む」「書く」「聞く」「話す」「感じる」の5技能を総合的に学習し、ドイツ語・ドイツ語圏の文化について理解を深める。								
準備学習の内容	毎時間の予習・復習を欠かさず行うこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDを聞き、アルファベートを発音できるようにしておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	ガイダンス ドイツ語を話す国々 アルファベートの発音ができる。			
事後学習[復習]	アルファベートの発音を覚える。			
2回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDを聞き、挨拶の表現、数詞を発音できるようにしておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	発音 挨拶 曜日・四季・月・数詞の発音ができる。			
事後学習[復習]	発音 挨拶 曜日・四季・月・数詞の発音とつづりを覚える。			
3回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDでLektion 1を聞いておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	人称代名詞と動詞の現在人称変化、動詞haben・seinの現在人称変化、ja・nein の使い方を説明できる。			
事後学習[復習]	人称代名詞と動詞の現在人称変化、動詞haben・seinの現在人称変化、ja・nein の使い方を覚える。			
4回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	練習問題をやっておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	練習問題、自己紹介、Guten Tag! を音読して説明できる。			
事後学習[復習]	自己紹介、Guten Tag! を音読して覚える。			
5回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDでLektion 2を聞いておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	名詞の性と冠詞 名詞の格 定冠詞と名詞の格変化 不定冠詞と名詞の格変化の使い方を説明できる。			
事後学習[復習]	名詞の性と冠詞 名詞の格 定冠詞と名詞の格変化 不定冠詞と名詞の格変化を覚える。			
6回	コアカリNo.		担当者	

準備学習[予習]	練習問題1～3をやっておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	身のまわりのもの、 格の用法　名詞の複数形　人称代名詞の使い方について説明できる。			
事後学習[復習]	格の用法　名所の複数形　人称代名詞の使い方を覚える。			
7回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	練習問題の続きをやっておくこと。会話しよう　読んでみようを音読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	練習問題、会話しよう　読んでみようを説明できる。			
事後学習[復習]	会話しよう　読んでみよう　を覚える。			
8回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDでLektion 3　を聞いておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	動詞の現在人称変化(2)不規則動詞、命令形、非人称の es　について説明できる。			
事後学習[復習]	不規則動詞、命令形、非人称のes　を繰り返し音読して覚える。			
9回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDでLektion 3 を聞き、練習問題をやっておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	練習問題、時間の表現、並列の接続詞について説明できる。			
事後学習[復習]	時間の表現、並列の接続詞を覚える。			
10回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDでLektion 3　の会話しようと読んでみようを聞き、音読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	場所の尋ね方、「～しよう」の勧誘表現を説明できる。			
事後学習[復習]	Lektion 3 を繰り返し音読して覚える。			
11回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDでLektion 4　を聞き、音読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	定冠詞類、不定冠詞類について説明できる。			
事後学習[復習]	定冠詞類、不定冠詞類の格変化を暗記する。			
12回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	練習問題1、2をやっておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	人称代名詞の3格と4格、3格と4格の語順について説明できる。練習問題1、2。			
事後学習[復習]	人称代名詞3格と4格を暗記する。3格と4格の語順を覚える。			

13回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	練習問題3をやっておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	身に着けるもの、家族の単語を説明できる。Kein と nicht の使い分けを説明できる。			
事後学習[復習]	身に着けるもの、家族の単語を覚える。Kein と nicht の使い分けを覚える。			
14回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDで会話しよう、読んでみようを繰り返し聞いて音読し、日本語訳しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	会話しよう、「～はいくらですか」、読んでみよう、反対語を説明できる。			
事後学習[復習]	「～はいくらですか」、反対語を覚える。			
15回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	ドイツ語の発音から、第4課まで学習したことを理解しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	前期に学習したことを説明できる。			
事後学習[復習]	前期に学習したことを理解する。			

履修上の注意・受講生への要望	テキストを中心にできるだけやさしく進めていきますが、授業のための積極的な学習が必要です。独和辞典は必携です。
教科書	(書　　名)ブーメラン・エルエー (著 者 名)小野寿美子　中川明博　西巻丈児 (出版社名)朝日出版社 (定　　価)2,700円(税込)
参考書	(書　　名)教室と自修のためのドイツ語入門 (著 者 名)山本　明　　古賀允洋 (出版社名)同学社 (定　　価)2,592円(税込)
成績評価	定期試験100%。ただし、理由なく3回以上欠席した場合は、試験受験の有無に関わらず、評価しない。

2015/03/23(月)14:29

科目名	ドイツ語II(German II)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	1	授業方法	講義	選択必修	外国語
科目責任者	山崎 良介(非常勤講師)		担当者						
授業概要及び目標	ドイツ文法を基礎に、「読む」「書く」「聞く」「話す」「感じる」の5技能を総合的に学習し、ドイツ語・ドイツ語圏の文化についての理解を深める。								
準備学習の内容	毎時間の予習・復習を欠かさず行うこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	ドイツ語Ⅰで学習した内容を理解しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	Lektion 5 前置詞の格支配、前置詞と定冠詞の融合形を説明できる。			
事後学習[復習]	前置詞の格支配、前置詞と定冠詞の融合形を理解する。			
2回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDでLektion 5 を聞き、音読しておくこと。練習問題をやっておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	特定の前置詞と結びつく動詞・形容詞を説明できる。			
事後学習[復習]	特定の前置詞と結びつく動詞・形容詞を理解する。			
3回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDでLektion 5 を聞き、音読し内容を理解できるようにする。			
到達目標・授業内容(方略)	行きかたのたずね方を説明できる。読んでみようを音読し、説明できる。			
事後学習[復習]	場所のたずねかたを練習し、前置詞の用法を覚える。			
4回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDでLektion 6 を聞き、音読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	話法の助動詞、未来形について説明できる。			
事後学習[復習]	話法の助動詞の人称変化形を覚える。			
5回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	練習問題をやっておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	従属接続詞と副文、分離動詞と非分離動詞を説明できる。練習問題を説明できる。			
事後学習[復習]	練習問題をもう1度やってみること。			
6回	コアカリNo.		担当者	

準備学習[予習]	付録のCDでLektion 7 を聞き、音読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	形容詞の格語尾変化、形容詞・副詞の比較を説明できる。			
事後学習[復習]	形容詞の格語尾変化、形容詞・副詞の比較を暗記する。			
7回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	練習問題をやっておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	練習問題、料理(食べ物)を注文し、支払いの会話ができる。			
事後学習[復習]	練習問題をもう1度やってみること。注文と支払いの会話を覚える。			
8回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDでLektion 8 を聞き、音読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	動詞の3基本形、現在完了形について説明できる。			
事後学習[復習]	規則動詞と不規則動詞の3基本形を暗記する。			
9回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	練習問題をやっておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	練習問題を説明できる。読んでみようを音読し、説明できる。			
事後学習[復習]	現在完了形について理解する。			
10回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDでLektion 9 を聞き、音読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	過去形、過去人称変化を説明できる。			
事後学習[復習]	過去人称変化を声を出して発音し、暗記する。			
11回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDでLektion 9 を聞き、音読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	再帰代名詞と再帰動詞を説明できる。			
事後学習[復習]	再帰代名詞と再帰動詞を覚える。			
12回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	練習問題をやっておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	練習問題を説明できる。読んでみようを音読し、説明できる。			
事後学習[復習]	付録のCDでLektion 9 を繰り返し聞き、音読して理解する。			

13回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDでLektion 10 を聞き、音読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	zu 不定詞(句)を説明できる。			
事後学習[復習]	zu 不定詞(句)の用法を理解する。			
14回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	練習問題1をやっておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	関係代名詞、練習問題を説明できる。			
事後学習[復習]	関係代名詞の用法を理解する。			
15回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	付録のCDでLektion 10 を繰り返し聞き、音読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	文法の補足(受動形、分詞の用法、接続法)を説明できる。			
事後学習[復習]	受動形、分詞の用法、接続法を理解する。			

履修上の注意・受講生への要望	テキストを中心にできるだけやさしく進めていきますが、授業のための積極的な学習が必要です。独和辞典は必携です。
教科書	(書　　名)ブーメラン・エルエー (著 者 名)小野寿美子　中川明博　西巻丈児 (出版社名)朝日出版社 (定　　価)2,700円(税込)
参考書	(書　　名)教室と自修のためのドイツ語入門 (著 者 名)山本 明　古賀允洋 (出版社名)同学社 (定　　価)2,484円(税込)
成績評価	定期試験100%。ただし、理由なく3回以上欠席した場合は、試験受験の有無に関わらず、評価しない。

2015/03/23(月)14:30

科目名	韓国語I(Korean I)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	1	授業方法	講義	選択必修	外国語
科目責任者	田　昌禾(非常勤講師)		担当者						
授業概要及び目標	ハングルの読み書きと基礎的な会話ができることを到達目標とする。授業では文字の読み、書き、ヒヤリング、会話表現の練習等を通じて、総合的な語学力習得を目指す。								
準備学習の内容	ハングルの子音、母音、合成母音など全般的な文字について学ぶので、ハングルの文字について予習しておくこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	ハングルの文字について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	授業の概要、目的、到達目標及び授業の方法、ハングル文字の仕組み			
事後学習[復習]	ハングルの文字について復習しておくこと。			
2回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	基本母音について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	基本母音について学習する。			
事後学習[復習]	基本母音について復習しておくこと。			
3回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	基本子音について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	基本子音について学習する。			
事後学習[復習]	基本子音について復習しておくこと。			
4回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	複合母音について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	複合母音について学習する。			
事後学習[復習]	複合母音について復習しておくこと。			
5回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	激音・濃音、バッチム・文字の組み合わせについて予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	激音・濃音、バッチム・文字の組み合わせについて学習する。			
事後学習[復習]	激音・濃音、バッチム・文字の組み合わせについて復習しておくこと。			
6回	コアカリNo.		担当者	

準備学習[予習]	発音の変化について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	発音の変化（連音化・鼻音化・濃音化・激音化）について学習する。			
事後学習[復習]	発音の変化について復習しておくこと。			
7回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	今まで学習した内容を予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	小テスト			
事後学習[復習]	今まで学習した内容を復習しておくこと。			
8回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	ハングルを読む練習をしておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	K-POP で学ぶ韓国語 (ハングル読み練習)について学習する。			
事後学習[復習]	K-POP で学ぶ韓国語について復習しておくこと。			
9回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	数詞(漢)数詞(固有)について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	数詞(漢)数詞(固有)について学習する。			
事後学習[復習]	数詞(漢)数詞(固有)について復習しておくこと。			
10回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	「…です(か)、…ます(か)」丁寧形について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	「…です(か)、…ます(か)」丁寧形について学習する。			
事後学習[復習]	「…です(か)、…ます(か)」丁寧形について復習しておくこと。			
11回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	「…です(か)、…ます(か)」会話形について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	「…です(か)、…ます(か)」会話形について学習する。			
事後学習[復習]	「…です(か)、…ます(か)」会話形について復習しておくこと。			
12回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	否定文の表現について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	否定文の表現について学習する。			
事後学習[復習]	否定文の表現について復習しておくこと。			

13回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	主な助詞(その1)について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	主な助詞(その1)について学習する。			
事後学習[復習]	主な助詞(その1)について復習しておくこと。			
14回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	主な助詞(その2)について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	主な助詞(その2)について学習する。			
事後学習[復習]	主な助詞(その2)について復習しておくこと。			
15回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	今まで学習した内容をもう一度する予習すること。			
到達目標・授業内容(方略)	韓国語1の総まとめについて学習する。			
事後学習[復習]	今まで学習した内容をもう一度する復習すること。			

履修上の注意・受講生への要望	言葉だけではなく、常に韓国ドラマ、映画、音楽、文芸、ニュースなどを通じて韓国への関心を持ってほしい。
教科書	(書　　名) 最もシンプルな韓国語マニュアル (著 者 名) 小倉紀蔵 (出版社名) アルク (定　　価) 1,944円(税込)
参考書	必要に応じて指示する。
成績評価	小テスト 20%、平常点 20%、定期試験 60%とする。

2015/03/23(月)14:38

科目名	韓国語II(Korean II)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	1	授業方法	講義	選択必修	外国語
科目責任者	田　昌禾(非常勤講師)		担当者						
授業概要及び目標	韓国語1を学習した学生を対象とする。基本的な韓国語のメカニズムを紹介し、ハングルの読み書きと基礎的な会話ができることを到達目標とする。授業では文字の読み、書き、ヒヤリング、会話表現の練習等を通じて、簡単な表現を「自分の言葉」として会話を楽しめながら、正しい発音で何度も繰り返した後、自ら直接ハングルを書いて習得できるようにする。								
準備学習の内容	教科書の予習・復習を欠かさず行うこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	韓国語1の総まとめについて予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	韓国語1の復習と韓国語2の流れなどを紹介			
事後学習[復習]	韓国語1の総まとめについて復習しておくこと。			
2回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	連体形を表す表現について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	連体形を表す表現について学習する。			
事後学習[復習]	連体形を表す表現について復習しておくこと。			
3回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	過去形を表す表現について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	過去形を表す表現について学習する。			
事後学習[復習]	過去形を表す表現について復習しておくこと。			
4回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	未来形を表す表現について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	未来形を表す表現について学習する。			
事後学習[復習]	未来形を表す表現について復習しておくこと。			
5回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	可能／不可能，義務の表現について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	可能／不可能，義務の表現について学習する。			
事後学習[復習]	可能／不可能，義務の表現について復習しておくこと。			

6回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	願望／願望の否定の表現について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	願望／願望の否定の表現について学習する。			
事後学習[復習]	願望／願望の否定の表現について復習しておくこと。			
7回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	命令／禁止／勧誘の表現について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	命令／禁止／勧誘の表現について学習する。			
事後学習[復習]	命令／禁止／勧誘の表現について復習しておくこと。			
8回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	今まで学習した表現について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	小テスト			
事後学習[復習]	今まで学習した表現について復習しておくこと。			
9回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	動作の継続・進行の表現について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	動作の継続・進行の表現について学習する。			
事後学習[復習]	動作の継続・進行の表現について復習しておくこと。			
10回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	状態の継続表現について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	状態の継続表現について学習する。			
事後学習[復習]	状態の継続表現について復習しておくこと。			
11回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	使役，受け身，下称終止形，引用の表現について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	使役，受け身，下称終止形，引用の表現について学習する。			
事後学習[復習]	使役，受け身，下称終止形，引用の表現について復習しておくこと。			
12回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	韓国映画で学ぶ韓国語にについて予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	韓国映画で学ぶ韓国語について学習する。			
事後学習				

[復習]	韓国映画で学ぶ韓国語について復習しておくこと。			
13回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	韓国文化の体験について予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	韓国文化の体験について学習する。			
事後学習[復習]	韓国文化の体験について復習しておくこと。			
14回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	韓国語2の総まとめについて予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	韓国語2の総まとめについて学習する。			
事後学習[復習]	韓国語2の総まとめについて復習しておくこと。			
15回	コアカリNo.		担当者	
準備学習[予習]	今まで学習した韓国語1&2をもう一度予習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	韓国語1&2の総まとめについて学習する。			
事後学習[復習]	今まで学習した韓国語1&2をもう一度復習しておくこと。			

履修上の注意・受講生への要望	言葉は気持ちを伝える一つの道具なので、上手になればなるほど韓国語が楽しくなります。韓国語に興味を持った気持ちを大切にし、勉強,勉強と固く考えないで韓国文化を楽しみながら韓国語を学びましょう。
教科書	(書　　名) 最もシンプルな韓国語マニュアル (著 者 名) 小倉紀蔵 (出版社名) アルク (定　　価) 1,944円(税込)
参考書	必要に応じて指示する。
成績評価	小テスト 20%、平常点 20%、定期試験 60%とする。

2015/03/23(月)14:18

科目名	健康体力論I(Science of Health and Physical Fitness I)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	1	授業方法	講義	選択必修	保健体育
科目責任者	松原 茂		担当者						
授業概要及び目標	近年における生活の機械化や自動化が、生活の中の身体活動の必要性を減少させ、運動不足が体力や諸生理的予備力を低下させる。さらに、いわゆる運動不足病と呼ばれる一連の疾患を増大させるなどして、運動不足が現状における健康阻害の一大因子となっている。本授業では身体運動の意義や運動時の生体応答などを理解し、健康や体力の維持・増進に即した運動の実践方法などについての知識を習得する。								
準備学習の内容	LMSから授業毎の内容をよく見て理解を深めておくこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	松原 茂
準備学習[予習]	LMS上にアップした資料を読んでおくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	健康づくりのための運動の効果について説明できる。			
事後学習[復習]	次回以降、小テストを適宜実施するので各回の授業内容をよくまとめておくこと。			
2回	コアカリNo.		担当者	〃
準備学習[予習]	LMS上にアップした資料を読んでおくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	体力の意義と体力テストの方法・評価について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容をまとめておくこと。			
3回	コアカリNo.		担当者	〃
準備学習[予習]	LMS上にアップした資料を読んでおくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	健康・体力づくりのための身体トレーニングの原則について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容をまとめておくこと。			
4回	コアカリNo.		担当者	〃
準備学習[予習]	LMS上にアップした資料を読んでおくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	健康・体力づくりのための身体トレーニングの実践方法について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容をまとめておくこと。			
5回	コアカリNo.		担当者	〃
準備学習[予習]	LMS上にアップした資料を読んでおくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	いろいろな環境下で安全に運動を行う方法及びスポーツ外傷・傷害の応急処置について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容をまとめておくこと。			

6回	コアカリNo.		担当者	〃
準備学習[予習]	LMS上にアップした資料を読んでおくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	肥満の評価及び予防・改善の方法について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容をまとめておくこと。			
7回	コアカリNo.		担当者	〃
準備学習[予習]	LMS上にアップした資料を読んでおくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	健康づくりのための食生活の基礎知識について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容をまとめておくこと。			
8回	コアカリNo.		担当者	〃
準備学習[予習]	LMS上にアップした資料を読んでおくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	健康づくりのための運動を介したストレスの予防及び積極的休養の方法について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習するとともに、全8週にわたって実施してきた講義内容を振り返り、得られた知識を整理しておくこと。			

履修上の注意・受講生への要望	LMS上に資料を事前にアップするので、各自でプリントアウトし授業に持参すること。
教科書	なし(各自、事前に資料をプリントアウトし、持参すること)
参考書	(書　　名)スポーツインストラクターのための運動指導マニュアル (著 者 名)鈴木政登 編著 (出版社名)文光堂
成績評価	小テスト30%、定期試験70%

2015/03/25(水)14:57

科目名	スポーツ科学実技I(Sports Science and Physical Fitness Exercise I)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	1	授業方法	実技	選択必修	保健体育
科目責任者	松原 茂		担当者	松尾 絵梨子、田中 雅子(非常勤講師)、穂積 典子(非常勤講師)					
授業概要及び目標	健康や体力の維持・増進に必要な身体トレーニングの方法を把握するとともに、運動やスポーツが安全に効率よく行えるためのウォームアップやクーリングダウンの方法を習得する。また、自己が選択したスポーツが生涯にわたり実践できるように、その特性や技術、ルール等を習得しながら自己の体力増進をはかる。								
準備学習及び事後学習の内容									
準備学習 [予習]	各自が履修しているスポーツ種目の授業(週)毎の内容について、基本技術やゲームの戦略あるいはパフォーマンスを高める方法をインターネットや書籍等を利用し十分に理解を深めておくこと。また、体力測定結果で示された自己の劣っている体力的要素を補強(トレーニング)し授業に臨むこと。								
事後学習 [復習]	シラバスやガイダンス時に配布された資料を熟読し、履修上の注意点や授業で使用する持ち物等、次回以降の授業に備えるとともに、授業後に各実技で実施した技術のイメージトレーニングを行って、技術の習得度を高めておくこと。また、自己が履修するスポーツ種目の歴史やルールについてのレポートを作成し、提出すること。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	松原, 松尾, 田中, 穂積
到達目標・授業内容(方略)	ガイダンス(教室:自己が履修するスポーツ種目の決定、スポーツ科学実技I履修上の諸注意と授業計画の説明)			
2回	コアカリNo.		担当者	松原, 松尾, 田中, 穂積
到達目標・授業内容(方略)	体力トレーニングの基礎知識及びウォーミングアップとクーリングダウンの実践方法の習得			
3回	コアカリNo.		担当者	松原, 松尾, 田中, 穂積
到達目標・授業内容(方略)	体力テスト(筋力、筋持久力、瞬発力、敏捷性、柔軟性、全身持久力)			
4回	コアカリNo.		担当者	(1)松原, (2)松尾, (3)穂積, (4)田中
到達目標・授業内容(方略)	(1)ゴルフ:基本技術(グリップ、スタンス、アドレス) (2)バレーボール:基本技術(体ほぐし、アンダーハンドパス、オーバーハンドパス) (3)フィットネス・トレーニング:トレーニング機器の使用方法と効果についての説明 (4)エアロビクスダンスI:音楽に合わせて動く、音楽の構成を理解する			
5回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)ミドルアイアン(ハーフショット) (2)パス&トス練習(対人、円陣)、サーブ練習(アンダーハンド、サイドハンド、フローター) (3)トレーニングプログラムの作成 (4)フォーメーション(フォーメーションによる運動強度の変化とプログラムの変化)			
6回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)ミドルアイアン(フルショット) (2)パス&トス練習(対人、円陣)、レシーブ練習(レセプション(サーブカット)) (3)トレーニングプログラムの修正 (4)基本ステップの理解			
7回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)アプローチショット(15ヤード:ランニング、ピッチ&ラン) (2)パス&トス練習(対人、円陣)、レシーブ練習(ディグ(スパイクレシーブ)) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)ステップとコンビネーション(16、32カウントコンビネーション作成)			
8回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)アプローチショット(30ヤード:ピッチ&ラン、ピッチ) (2)スパイク練習(投げ上げ、トス) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)シンメトリーコンビネーション(64カウントシンメトリーコンビネーション作成)			

9回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)模擬ラウンド(9ホール:ショートアイアン) (2)スパイク練習(トス)、ブロック練習(基本姿勢、ステップ) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)運動強度を意識して動く、作成したコンビネーションをプログラムにする			
10回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)ティーショット(3W) (2)連係プレー(三段攻撃、レセプション&スパイク)、ミニゲーム(ソフトバレー:3対3) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)ウォームアップの目的効果、課題曲			
11回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)ティーショット(3Wと1W) (2)ミニゲーム(ソフトバレー:3対3) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)メインエクササイズの目的効果、課題曲			
12回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)ティーショット(1W)とフェアウェイショット(3,4,5W) (2)チーム練習、ゲーム(6対6) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)筋コンディショニングの目的効果、課題曲			
13回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)模擬ラウンド(9ホール:1Wとアイアン) (2)チーム練習、ゲーム(6対6) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)クールダウンの目的効果、キューイング			
14回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)パッティング、バンカーショット(スポーツホール横ドライビングレンジ) (2)チーム練習、ゲーム(6対6) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)作成した64カウントコンビネーションの実演			
15回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)総合ショット:全てのクラブ(スポーツホール横ドライビングレンジ) (2)チーム練習、ゲーム(6対6) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)まとめ、課題曲及び学生が作成したプログラムで動く			

履修上の注意・受講生への要望	履修定員 (1)ゴルフ 35名 (2)バレーボール 36名(男:18名、女:18名) (3)フィットネス・トレーニング 30名 (4)エアロビクスダンスI 30名
教科書	なし
参考書	なし
成績評価	授業態度65%、実技試験15%、レポート15%、スポーツ関連行事への参加5%、によって総合的に評価する。 なお、出席状況が11回(70%以上)に満たない者は成績評価の対象としない。

2015/03/23(月)14:05

科目名	スポーツ科学実技II(Sports Science and Physical Fitness Exercise II)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	1	授業方法	実技	選択必修	保健体育
科目責任者	松原 茂		担当者	松尾 絵梨子、田中 雅子(非常勤講師)、穂積 典子(非常勤講師)					
授業概要及び目標	健康や体力の維持・増進に必要な身体トレーニングの方法を把握するとともに、運動やスポーツが安全に効率よく行えるためのウォームアップやクーリングダウンの方法を習得する。また、自己が選択したスポーツが生涯にわたり実践できるように、その特性や技術、ルール等を習得しながら自己の体力増進をはかる。								
準備学習及び事後学習の内容									
準備学習 [予習]	各自が履修しているスポーツ種目の授業(週)毎の内容について、基本技術やゲームの戦略あるいはパフォーマンスを高める方法をインターネットや書籍等を利用し十分に理解を深めておくこと。また、体力測定結果で示された自己の劣っている体力的要素を補強(トレーニング)し授業に臨むこと。								
事後学習 [復習]	シラバスやガイダンス時に配布された資料を熟読し、履修上の注意点や授業で使用する持ち物等、次回以降の授業に備えるとともに、授業後に各実技で実施した技術のイメージトレーニングを行って、技術の習得度を高めておくこと。また、自己が履修するスポーツ種目の歴史やルールについてのレポートを作成し、提出すること。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	松原, 松尾, 田中, 穂積
到達目標・授業内容(方略)	ガイダンス(教室:自己が履修するスポーツ種目の決定、スポーツ科学実技II履修上の諸注意と授業計画の説明)			
2回	コアカリNo.		担当者	松原, 松尾, 田中, 穂積
到達目標・授業内容(方略)	体力トレーニングの基礎知識及びウォーミングアップとクーリングダウンの実践方法の習得			
3回	コアカリNo.		担当者	(1)松原, (2)松尾, (3)穂積, (4)田中
到達目標・授業内容(方略)	(1)ソフトボール:キャッチボール、トスバッティング (2)バドミントン:基本技術(体ほぐし、グリップ、基本姿勢、フットワーク) (3)フィットネス・トレーニング:トレーニング機器の使用方法と効果についての説明 (4)エアロビクスダンスII:音楽に合わせて動く、音楽の構成を理解する			
4回	コアカリNo.		担当者	(1)松原, (2)松尾, (3)穂積, (4)田中
到達目標・授業内容(方略)	(1)投球練習(スタンダード投法)、打撃練習(トスバッティング)、走塁練習(駆け抜け、オーバーラン) (2)ストローク練習(オーバーヘッド、サイドアーム、アンダーアーム) (3)トレーニングプログラムの作成 (4)フォーメーション(フォーメーションによる運動強度の変化とプログラムの変化)			
5回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)キャッチボール(送球の基本)、打撃練習(ハーフバッティング)、走塁練習(離塁) (2)ストローク練習(フォアハンド、バックハンド) (3)トレーニングプログラムの修正 (4)基本ステップの理解			
6回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)キャッチボール(捕球の基本)、打撃練習(フリーバッティング)、ゲーム(3イニング) (2)ショット練習(クリアー、ドロップ、ドライブ)、ゲーム(ハーフコート:シングルス) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)ステップとコンビネーション(16、32カウントコンビネーション作成)			
7回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)打撃練習(フリーバッティング)、守備練習(個人ノック)、ゲーム(3イニング) (2)ショット練習(ロブ、ヘアピン、プッシュ、スマッシュ)、ゲーム(ハーフコート:シングルス) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)シンメトリーコンビネーション(64カウントシンメトリーコンビネーション作成)			
8回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)打撃練習(フリーバッティング、バント)、守備練習(個人ノック)、ゲーム(3イニング) (2)総合技術(複合的なショット&フットワーク)、サービス練習(ショートサービス) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)運動強度を意識して動く、作成したコンビネーションをプログラムにする			

9回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)打撃練習(シートバッティング)、守備練習(シートノック)、ゲーム(3イニング) (2)総合技術(複合的なショット&フットワーク)、サービス練習(ロングサービス) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)ウォームアップの目的効果、課題曲			
10回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)守備練習(カバーリング、中継プレー、ホースプレー)、ゲーム(3イニング) (2)ゲーム(シングルス) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)メインエクササイズの目的効果、課題曲			
11回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)ゲーム(5イニング) (2)ゲーム(シングルス) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)筋コンディショニングの目的効果、課題曲の構成を理解する			
12回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)ゲーム(5イニング) (2)ゲーム(シングルス) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)クールダウンの目的効果、キューイング			
13回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)ゲーム(5イニング) (2)チーム練習、ゲーム(ダブルス) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)作品の創作[1]			
14回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)ゲーム(5イニング) (2)チーム練習、ゲーム(ダブルス) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)作品の創作[2]			
15回	コアカリNo.		担当者	〃
到達目標・授業内容(方略)	(1)ゲーム(5イニング) (2)チーム練習、ゲーム(ダブルス) (3)トレーニングプログラムの実施 (4)作品の発表			

履修上の注意・受講生への要望	履修定員 (1)ソフトボール 30名 (2)バドミントン 36名 (3)フィットネス・トレーニング 40名 (4)エアロビクスダンスII 30名
教科書	なし
参考書	なし
成績評価	授業態度65%、実技試験15%、レポート15%、スポーツ関連行事への参加5%、によって総合的に評価する。 なお、出席状況が11回(70%以上)に満たない者は成績評価の対象としない。

2015/03/23(月)15:15

科目名	早期臨床体験(Early Clinical Exposure)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	1	授業方法	実習	選択必修	薬学A(必修)
科目責任者	林 宏行		担当者	全教員					
授業概要及び目標	薬学の学問領域は物質のミクロな構造から患者心理に至るまで大変幅広く、また、その職域も病院・薬局薬剤師から医薬品の研究・開発・製造・管理・販売、医薬品情報の提供・収集さらには衛生行政と非常に幅広く多岐にわたっている。それだけに同じ医療に携わる医師・歯科医師・看護師を目指す学生に比べて学習の目標が絞りきれず、学習に対するモチベーションの維持が困難な面がある。薬剤師の社会での役割を認識して、薬学生としての学習に対するモチベーションを高めるために、卒業生の活躍する現場などを体験する。							
準備学習及び事後学習の内容									
準備学習 [予習]	見学先(病院、薬局、施設、企業)施設について調べ、見学のポイントを決めておく。SGD(スモールグループディスカッション)では討議に備え見学ポイントを整理しておくこと。								
事後学習 [復習]	講義、高齢者体験の感想レポート提出、見学先別のレポート提出、お礼状の送付、疑問点、不明点は調べておくこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.	F(1)①	担当者	全教員
到達目標・授業内容(方略)	ガイダンス:病院、薬局、製薬企業、衛生行政、研究所、福祉施設など薬学部出身者が活躍する領域について概説できる。			
2回	コアカリNo.	F(1)①	担当者	全教員
到達目標・授業内容(方略)	オリエンテーション:病院、薬局、製薬企業、研究所、衛生行政、福祉施設各々についてその業務内容の特徴を理解し、体験見学時の要点や注意事項について理解する。(講義)			
3回	コアカリNo.	F(1)①	担当者	全教員
到達目標・授業内容(方略)	オリエンテーション:見学先施設について調べ、体験見学の目的や意義について討議する。(SGD)			
4回	コアカリNo.	F(1)①	担当者	全教員
到達目標・授業内容(方略)	現役薬局薬剤師の体験談を聴いて、薬局の社会に対する役割と将来について理解する。			
5回	コアカリNo.	F(1)①	担当者	全教員
到達目標・授業内容(方略)	高齢者体験について理解を深めるために、白内障を体験できるゴーグルなど7つの器具を身に付けて運動。感覚器機能を低下させ、高齢者の視点にたって社会を観察する。(体験)			
6回	コアカリNo.	F(1)①	担当者	全教員
到達目標・授業内容(方略)	病院における薬剤師および他職種の業務を見聞し、医療機関での薬剤師の責務と重要性を体得する。(見学・体験)			
7回	コアカリNo.	F(1)①	担当者	全教員
到達目標・授業内容(方略)	病院薬剤師の業務やチーム医療における薬剤師の役割について討議する。			
8回	コアカリNo.	F(1)①	担当者	全教員
到達目標・授業内容(方略)	開局薬剤師の業務を見聞し、地域医療における薬剤師の責務と重要性を体得する。(見学・体験)			
9回	コアカリNo.	F(1)①	担当者	全教員
到達目標・授業内容(方	開局薬剤師の業務や地域に対する役割について討議する。			

略)				
10回	コアカリNo.	F(1)①	担当者	全教員
到達目標・授業内容(方略)	製薬企業、保険・衛生行政、研究所、医薬品物流センター、福祉施設の業務を見聞し、体得したことについて、それぞれの職域における薬剤師の責務と重要性を体得する。			
11回	コアカリNo.	F(1)①	担当者	全教員
到達目標・授業内容(方略)	製薬企業、保険・衛生行政、研究所、医薬品物流センター、福祉施設の業務を見聞し体験したことについて、それぞれの職域における薬剤師の責務などについて討議する。			
12回	コアカリNo.	F(1)①	担当者	全教員
到達目標・授業内容(方略)	製薬企業、保険・衛生行政、研究所、医薬品物流センター、福祉施設の業務を見聞し体得したことについて討議した内容を発表できる形にまとめ、口頭発表できるよう準備、練習する。			
13回	コアカリNo.	F(1)①	担当者	全教員
到達目標・授業内容(方略)	製薬企業、保険・衛生行政、研究所、医薬品物流センター、福祉施設の業務を見聞し体得したことについて討議した内容をポスターおよび口頭発表し、学年全体で討議する。			
14回	コアカリNo.	F(1)①	担当者	全教員
到達目標・授業内容(方略)	1次救命処置(心肺蘇生、外傷対応等)を説明し、シミュレータを用いて実施できる。			
15回	コアカリNo.	F(1)①	担当者	全教員
到達目標・授業内容(方略)	現役病院薬剤師の体験談を聴いて病院薬剤師の医療現場での役割やチーム医療について理解知る。			

履修上の注意・受講生への要望	早期臨床体験は医療人として第一歩である。病院や薬局、施設の見学・体験実習を行うが、そこでは学生も一人の社会人としてみなされる。責任ある行動をとること。 本実習は見学・体験施設の厚情と学生の医療人として巣立つという自覚、熱意によって成立する。常に感謝の気持ちを忘れないこと。
教科書	なし
参考書	
成績評価	実習態度(50%)、レポート(50%)

2015/03/23(月)14:39

科目名	ヒューマンコミュニケーション(Human Communication Skills)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	1	授業方法	講義	選択必修	薬学A(必修)
科目責任者	渡邉 文之		担当者	亀井 美和子					
授業概要及び目標	対人関係を良好に築けるようになるために、他者と自分の両者への理解を深め、他者から情報を適切に収集し、チームワーク、情報の伝え方、話の聴き方などの基本的なコミュニケーション能力の知識、技能、態度を習得する。								
準備学習の内容	チームワークによる発表の準備(情報収集、分析・評価、プレゼン資料作成)を行う。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.	A(3)1-1) A(3)1-4)	担当者	亀井
準備学習[予習]	教科書を読む			
到達目標・授業内容(方略)	意思、情報の伝達に必要な要素について説明できる。(講義) 対人関係に影響を及ぼす心理的要因について概説できる。(講義)			
事後学習[復習]	配布プリントの課題に取り組む			
2回	コアカリNo.	A(3)1-2) A(3)1-3)	担当者	亀井
準備学習[予習]	教科書を読む			
到達目標・授業内容(方略)	言語的及び非言語的コミュニケーションについて概説できる。(講義・演習) 相手の立場、文化、習慣等によって、コミュニケーションの在り方が異なることを例を挙げて説明できる。(講義)			
事後学習[復習]	配布プリントの課題に取り組む			
3回	コアカリNo.	A(3)1-7) A(3)1-9)	担当者	亀井、渡邉
準備学習[予習]	SGD準備			
到達目標・授業内容(方略)	適切な聴き方、質問を通じて相手の考えや感情を理解するように努める。(技能・態度) 他者の意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。(知識・技能) コーチングのスキルについて概説できる。(講義・演習)〔問題解決型学習〕			
事後学習[復習]	配布プリントの課題に取り組む			
4回	コアカリNo.	A(3)1-7) A(3)1-9)	担当者	亀井、渡邉
準備学習[予習]	SGD準備			
到達目標・授業内容(方略)	適切な聴き方、質問を通じて相手の考えや感情を理解するように努める。(技能・態度) 他者の意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。(知識・技能) コーチングのスキルを活用できる。(講義・演習)〔問題解決型学習〕			
事後学習[復習]	配布プリントの課題に取り組む			
5回	コアカリNo.	A(3)1-5) A(3)1-8)	担当者	渡邉
準備学習[予習]	SGD準備			
到達目標・授業内容(方	適切な手段により自分の考えや感情を相手に伝えることができる。(技能・態度) 相手の心理状態とその変化に配慮し、対応する。(態度)			

略)	アサーションのスキルについて概説できる。(講義・演習)〔問題解決型学習〕			
事後学習 [復習]	配布プリントの課題に取り組む			
6回	コアカリNo.	A(3)1-5) A(3)1-8)	担当者	渡邊
準備学習 [予習]	SGD準備			
到達目標・ 授業内容(方略)	適切な手段により自分の考えや感情を相手に伝えることができる。(技能・態度) 相手の心理状態とその変化に配慮し、対応する。(態度) アサーションのスキルを活用できる。(講義・演習)〔問題解決型学習〕			
事後学習 [復習]	配布プリントの課題に取り組む			
7回	コアカリNo.	A(3)1-6) A(3)1-7) A(3)1-9) B(1)1	担当者	渡邊
準備学習 [予習]	SGD準備			
到達目標・ 授業内容(方略)	自分の心理状態を意識して、他者と接することができる。(態度) 人の行動がどのような要因によって決定されるのかについて説明できる。 適切な聴き方、質問を通じて相手の考えや感情を理解するように努める。(技能・態度) 他者の意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。(知識・技能) 考え・気分・行動を切り分けることができる。(講義・演習) 考えのクセについて概説できる。(講義・演習)〔問題解決型学習〕			
事後学習 [復習]	配布プリントの課題に取り組む			
8回	コアカリNo.	A(3)2-1) B(1)1	担当者	亀井
準備学習 [予習]	1-7回目の授業で使用した教科書、プリントを読み返す			
到達目標・ 授業内容(方略)	患者や家族、周囲の人々の心身に及ぼす病気やケアの影響について説明できる。 人の行動がどのような要因によって決定されるのかについて説明できる。			
事後学習 [復習]	配布プリントの課題に取り組む			

履修上の注意・ 受講生への要望	グループワークに積極的に参加すること
教科書	〈書名〉 ファーマシューティカルケアのための医療コミュニケーション (著者名) 後藤 惠子　井手口 直子 (出版社名) 南山堂 (書名) スタンダード薬学シリーズII 1.薬学総論 I.薬剤師としての基本事項 (著者名) 日本薬学会(編) (出版社名) 東京化学同人
参考書	(書名) 人間関係づくりトレーニング (著者名) 星野 欣生 (出版社名) 金子書房 (書名) 改訂版 アサーション・トレーニング さわやかな〈自己表現〉のために (著者名) 平木 典子 (出版社名) 金子書房
成績評価	提出物 40%、 発表 10%、 定期試験 50%

2015/03/23(月)14:35

科目名	薬品物理化学I(Physical Chemistry I)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	2	授業方法	講義	選択必修	薬学A(必修)
科目責任者	藤井 まきこ		担当者	橋崎 要					
授業概要及び目標	自然の法則を学ぶ基礎的な学問の一つである。物質の性質や状態あるいは物質と生体との相互作用も共に自然の法則に支配されている。本講義は，化学熱力学，物理平衡および物質の移動などについて学び，高学年における製剤材料の性質，製剤と製剤工学，薬物送達システムの理解を容易ならしめることを目標とする。								
準備学習の内容	各回の講義内容について，教科書および配布した講義資料を用いて予習しておくこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	藤井
準備学習[予習]	教科書および講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	国際単位系および代表的な物性について概説できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し，演習問題を解いてみること。			
2回	コアカリNo.	C1(2)1-1)～3)	担当者	藤井
準備学習[予習]	教科書および講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	気体の微視的状態と巨視的状態について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し，演習問題を解いてみること。			
3回	コアカリNo.	C1(2)2-1)～3)	担当者	藤井
準備学習[予習]	教科書および講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	エネルギーと熱力学第一法則について説明できる(1)。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し，演習問題を解いてみること。			
4回	コアカリNo.	C1(2)2-4)～5)	担当者	藤井
準備学習[予習]	教科書および講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	エネルギーと熱力学第一法則について説明できる(2)。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し，演習問題を解いてみること。			
5回	コアカリNo.	C1(2)2-6)～7)	担当者	藤井
準備学習[予習]	教科書および講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	エネルギーと熱力学第一法則について説明できる(3)。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し，演習問題を解いてみること。			
6回	コアカリNo.	C1(2)3-1)～3)	担当者	藤井

準備学習[予習]	教科書および講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	エントロピーと熱力学第二法則について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し，演習問題を解いてみること。			
7回	コアカリNo.	C1(2)3-4)～5)	担当者	藤井
準備学習[予習]	教科書および講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	自発的な変化の方向について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し，演習問題を解いてみること。			
8回	コアカリNo.	C1(2)4-1)～4)	担当者	藤井
準備学習[予習]	教科書および講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	自由エネルギーと化学平衡について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し，演習問題を解いてみること。			
9回	コアカリNo.	C1(2)5-1)～3)	担当者	藤井
準備学習[予習]	教科書および講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	代表的な状態図について説明できる(1)。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し，演習問題を解いてみること。			
10回	コアカリNo.	C1(2)5-1)～3)	担当者	藤井
準備学習[予習]	教科書および講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	代表的な状態図について説明できる(2)。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し，演習問題を解いてみること。			
11回	コアカリNo.	C1(2)5-1)～3)	担当者	藤井
準備学習[予習]	教科書および講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	代表的な状態図について説明できる(3)。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し，演習問題を解いてみること。			
12回	コアカリNo.	E5(1)3-1)	担当者	橋崎
準備学習[予習]	教科書および講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	界面の性質について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し，演習問題を解いてみること。			

13回	コアカリNo.	E5(1)3-1)	担当者	橋崎
準備学習[予習]	教科書および講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	界面活性剤の種類とその性質について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し，演習問題を解いてみること。			
14回	コアカリNo.	E5(1)3-2)	担当者	橋崎
準備学習[予習]	教科書および講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	代表的な分散系を挙げ，その性質について説明できる(1)。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し，演習問題を解いてみること。			
15回	コアカリNo.	E5(1)3-3)	担当者	橋崎
準備学習[予習]	教科書および講義資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	代表的な分散系を挙げ，その性質について説明できる(2)。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し，演習問題を解いてみること。			

履修上の注意・受講生への要望	多くの科目の基礎となる科目です。とっつきにくいところがありますが，当たり前の自然現象の説明です。講義で取り扱った例題は繰り返し復習し，解法を習得し，演習問題に取り組んでみてください。
教科書	未定
参考書	
成績評価	定期試験100%。ただし，理由なく6回以上欠席した場合は，試験受験の有無に関わらず，評価しない。

2015/03/23(月)14:39

科目名	化学I(Chemistry I)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	1	授業方法	講義	選択必修	薬学A(必修)
科目責任者	三浦 基文		担当者						
授業概要及び目標	薬学において重要な医薬品などの化学物質を構成している原子, 分子, イオンの構造と性質, および化学の基礎概念を理解できるようになるため, 化学結合の成り立ち, 軌道の混成についての知識を習得する.								
準備学習の内容	高校で学習した化学, 特に物質の構成粒子, 化学結合, 無機物質, 有機化合物について充分に復習しておくこと.								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.	C3(5)-5	担当者	
準備学習[予習]	教科書「無機化合物・錯体」(第10章 10.3 医薬品としての無機化合物)を通読しておくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	医薬品として用いられる代表的な無機化合物・錯体を列挙できる.			
事後学習[復習]	講義内容を復習しておくこと.			
2回	コアカリNo.	C1(1)1-1	担当者	
準備学習[予習]	教科書「無機化合物・錯体」(第1章 原子の電子配置と周期表)を通読しておくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	化学結合の様式について説明できる.			
事後学習[復習]	講義内容を復習しておくこと.			
3回	コアカリNo.	C1(1)1-1	担当者	
準備学習[予習]	教科書「無機化合物・錯体」(第1章 原子の電子配置と周期表)を通読しておくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	化学結合の様式について説明できる.			
事後学習[復習]	講義内容を復習しておくこと.			
4回	コアカリNo.	C1(1)1-1	担当者	
準備学習[予習]	教科書「無機化合物・錯体」(第3章 元素の一般的性質)を通読しておくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	化学結合の様式について説明できる.			
事後学習[復習]	講義内容を復習しておくこと.			
5回	コアカリNo.	C1(1)1-2	担当者	
準備学習[予習]	教科書「無機化合物・錯体」(第4章 4-1原子間結合)と教科書「マクマリー有機化学」(1. 構造と結合)を通読しておくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	分子軌道の基本概念および軌道の混成について説明できる.			
事後学習[復習]	講義内容を復習しておくこと.			
6回	コアカリNo.	C1(1)1-2	担当者	

準備学習[予習]	教科書「無機化合物・錯体」(第4章 4-1原子間結合)と教科書「マクマリー有機化学」(1. 構造と結合)を通読しておくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	分子軌道の基本概念および軌道の混成について説明できる.			
事後学習[復習]	講義内容を復習しておくこと.			
7回	コアカリNo.	C1(1)1-2	担当者	
準備学習[予習]	教科書「無機化合物・錯体」(第4章 4-1原子間結合)と教科書「マクマリー有機化学」(1. 構造と結合)を通読しておくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	分子軌道の基本概念および軌道の混成について説明できる.			
事後学習[復習]	講義内容を復習しておくこと.			
8回	コアカリNo.	C1(1)1-2	担当者	
準備学習[予習]	教科書「無機化合物・錯体」(第4章 4-1原子間結合)と教科書「マクマリー有機化学」(1. 構造と結合)を通読しておくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	分子軌道の基本概念および軌道の混成について説明できる.			
事後学習[復習]	講義内容を復習しておくこと.			

履修上の注意・受講生への要望	この科目の内容は, 薬学専門の化学系科目の基本となるもので充分に習熟すること.
教科書	【教科書】 (書名) 無機化合物・錯体 第2版 (著者名) 梶 英輔ほか (出版社名) 廣川書店 (定価)3,200円＋税 【教科書】 (書名) マクマリー有機化学・上 第8版 (著者名) John McMurry (出版社名) 東京化学同人 (定価)4,500円＋税
参考書	【教材】 (製品名) HGS分子構造模型C型セット (販売元) MARUZEN (定価) 3,200+税
成績評価	定期試験100 %, ただし, 理由なく3回以上欠席した場合は評価しない.

2015/03/23(月)14:40

科目名	化学II(Chemistry II)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	2	授業方法	講義	選択必修	薬学A(必修)
科目責任者	鳥山 正晴		担当者	三浦 基文					
授業概要及び目標	化学Iで学んだ原子間結合から分子間で働く相互作用を理解し, 原子間・分子間結合の基本的知識を習得する。また, 有機化学の基本となる炭化水素化合物について, その立体も含めて命名できる能力を養う。更に、薬学において重要な無機医薬品に関連した無機化学物質の構造, 物性, 反応性などを理解するために, 代表的な典型元素, 遷移元素ならびに無機酸化物, オキソ化合物および錯体の名称, 構造, 性質などに関する基本的な知識を修得する。								
準備学習の内容	本講義科目に関連する既習科目は、「化学I」であり, 同一の教科書「無機化合物・錯体」を継続して使用する。「化学II」は、「化学I」で習得した知識を更に敷衍的に発展させると共に、無機化学領域についても講義する。既習科目である「化学I」に関しては, その内容を十分理解しておくと共に, 事前に教科書等を通読し, 必ず予習をしておいて下さい。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.	C3(1)1-1 C3(1)1-2 C3(1)1-3 C3(1)1-5	担当者	三浦
準備学習[予習]	教科書「無機化合物・錯体」(第4章 4-1原子間結合)と教科書「マクマリー有機化学」(2.11 酸と塩基)を通読しておくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	代表的な化合物をIUPAC規則に基づいて命名することができる。① 薬学領域で用いられる代表的な化合物を慣用名で記述できる。 基本的な化合物を, ルイス構造式で書くことができる。 ルイス酸・塩基, ブレンステッド酸・塩基を定義することができる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習しておくこと。			
2回	コアカリNo.	C1(1)1-3	担当者	三浦
準備学習[予習]	教科書「マクマリー有機化学」(2.4 共鳴, 2.5 共鳴構造の規則, 2.6 共鳴構造を書く)を通読しておくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	共役や共鳴の概念を説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習しておくこと。			
3回	コアカリNo.	C3(1)1-1 C3(2)1-2	担当者	三浦
準備学習[予習]	教科書「マクマリー有機化学」(3.2 アルカンとその異性体, 3.3 アルキル基, 3.4 アルカンの命名法)を通読しておくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	代表的な化合物をIUPAC規則に基づいて命名することができる。② アルカンの構造異性体を図示することができる。(技能)			
事後学習[復習]	講義内容を復習しておくこと。			
4回	コアカリNo.	C3(1)1-1 C3(1)2-6	担当者	三浦
準備学習[予習]	教科書「マクマリー有機化学」(7.3 アルケンの命名法, 7.4 アルケンのシス-トランス異性, 7.5 アルケンの立体化学とE, Z表示法)を通読しておくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	代表的な化合物をIUPAC規則に基づいて命名することができる。③ 炭素-炭素二重結合の立体異性(cis, transならびにE, Z異性)について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習しておくこと。			
5回	コアカリNo.	C1(1)1-2	担当者	三浦
準備学習	教科書「無機化合物・錯体」(第4章 4-1原子間結合)を通読しておくこと.			

[予習]				
到達目標・授業内容(方略)	分子軌道の基本概念および軌道の混成について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習しておくこと。			
6回	コアカリNo.	C1(1)2-1 C1(1)2-5 C1(1)2-7	担当者	三浦
準備学習[予習]	教科書「無機化合物・錯体」(第4章 4-2 分子間結合)を通読しておくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	ファンデルワールス力について説明できる。 水素結合について例を挙げて説明できる。 疎水性相互作用について例を挙げて説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習しておくこと。			
7回	コアカリNo.	C1(1)2-2 C1(1)2-3 C1(1)2-4 C1(1)2-6	担当者	三浦
準備学習[予習]	教科書「無機化合物・錯体」(第4章 4-2 分子間結合)を通読しておくこと.			
到達目標・授業内容(方略)	静電的相互作用について例を挙げて説明できる。 双極子間相互作用について例を挙げて説明できる。 分散力について例を挙げて説明できる。 電荷移動相互作用について例を挙げて説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習しておくこと。			
8回	コアカリNo.	C3(5)1-1	担当者	鳥山
準備学習[予習]	教科書「無機化合物 ・錯体」第5章 (5.1～5.5)を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	代表的な典型元素と遷移元素を列挙できる。①			
事後学習[復習]	講義内容の確認 ・復習をすること。			
9回	コアカリNo.	C3(5)1-1	担当者	鳥山
準備学習[予習]	教科書「無機化合物 ・錯体」第5章 (5.6～5.9)を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	代表的な典型元素と遷移元素を列挙できる。②			
事後学習[復習]	講義内容の確認 ・復習をすること。			
10回	コアカリNo.	C3(5)1-1	担当者	鳥山
準備学習[予習]	教科書「無機化合物 ・錯体」第6章を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	代表的な典型元素と遷移元素を列挙できる。③			
事後学習[復習]	講義内容の確認 ・復習をすること。			

11回	コアカリNo.	C3(5)1-2	担当者	鳥山
準備学習[予習]	教科書「無機化合物・錯体」第5章（5.6～5.9)を熟読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	代表的な無機酸化物，オキソ化合物の名称，構造，性質を列挙できる。			
事後学習[復習]	講義内容の確認・復習をすること。			
12回	コアカリNo.	C3(5)1-3	担当者	鳥山
準備学習[予習]	教科書「無機化合物・錯体」第9章を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	活性酸素と窒素酸化物の名称，構造，性質を列挙できる。			
事後学習[復習]	講義内容の確認・復習をすること。			
13回	コアカリNo.	C2(3)1-1	担当者	鳥山
準備学習[予習]	教科書「無機化合物・錯体」第12章を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	代表的な無機イオンの定性反応を説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容の確認・復習をすること。			
14回	コアカリNo.	C3(5)1-4	担当者	鳥山
準備学習[予習]	教科書「無機化合物・錯体」第7章及び第15章を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	代表的な錯体の名称，構造，基本的な性質を説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容の確認・復習をすること。			
15回	コアカリNo.	C3(5)1-5	担当者	鳥山
準備学習[予習]	教科書「無機化合物・錯体」第10章（10.3)及び第11章(11.2)を通読し，どの様な無機化合物や錯体が医薬品として用いられているかを日本薬局方などで調べておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	医薬品として用いられる代表的な無機化合物，および錯体を列挙できる。			
事後学習[復習]	講義内容の確認・復習をすること。			

履修上の注意・受講生への要望	化学IIは，化学系専門科目の基礎となる科目の一つであり，化学系既習科目に関してはそれらの内容を十分理解しておくこと，また，毎回の授業終了後は必ず講義内容を確認し，復習することが必要である。
教科書	(書　　名) 無機化合物・錯体 第2版　(著 者 名)梶　英輔ほか (出版社名) 廣川書店 (定　　価)3,360円(税込) (書　　名) マクマリー有機化学第8版上　(著 者 名)John Mcmurry (出版社名) 東京化学同人 (定　　価)4,500円＋税
参考書	(書　　名) スタンダード薬学シリーズ3 化学系薬学 I 化学物質の性質と反応　第2版 (著 者 名) 日本薬学会編 (出版社名) 東京化学同人 (定　　価)5,145円(税込)
成績評価	定期試験 100%　ただし，理由なく5回以上欠席した場合は評価しない.

2015/03/23(月)14:18

科目名	薬用植物学(Pharmaceutical Botany)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	1	授業方法	講義	選択必修	薬学A(必修)
科目責任者	松崎 桂一		担当者						
授業概要及び目標	薬用植物は，人類が手にした薬の原点といえる。現在においても漢方薬・民間薬，代替医療や医薬品原料として重要な役割を担っている。これらに使用される薬用植物の基本的性質を理解するために，植物の分類，形態ついての基本知識を修得する。さらに薬用植物の形態的特徴と薬用部位とそれらの用法，医薬品として用いられている主な薬用植物の成分についても基本事項を修得する。目標達成のため，講義において植物標本の観察および薬用植物園での植物観察を行う。								
準備学習の内容	LMSを用いて資料の配布を行なうので，ダウンロードし，講義予定の内容を確認しておくこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.	C5 (1) 1-1)～3)	担当者	
準備学習[予習]	教科書の授業内容に該当する範囲を通読する。			
到達目標・授業内容(方略)	薬用植物の歴史と現状が説明できる。 植物の分類と名称および代表的な薬用植物の学名が説明できる。			
事後学習[復習]	確認の演習を行ない，講義内容を復習する。			
2回	コアカリNo.	C5 (1) 1-1)～3)	担当者	
準備学習[予習]	教科書の授業内容に該当する範囲を通読する。			
到達目標・授業内容(方略)	植物の器官の形態(細胞，組織，茎，根、葉，花，果実，種子)と植物の鑑別ができる。			
事後学習[復習]	確認の演習を行ない，講義内容を復習する。			
3回	コアカリNo.	C5 (1) 1-1)～4), C5 (1) 2, C5 (1) 3-1),2)	担当者	
準備学習[予習]	教科書の授業内容に該当する範囲を通読する。			
到達目標・授業内容(方略)	代表的な薬用植物の薬用部位とその利用，成分群について説明できる。 ケシ、アサについて説明ができる。			
事後学習[復習]	確認の演習を行ない，講義内容を復習する。			
4回	コアカリNo.	C5 (1) 1-1)～3), C5 (1) 2, C5 (1) 3-1),2)	担当者	
準備学習[予習]	教科書の授業内容に該当する範囲を通読する。			
到達目標・授業内容(方略)	細菌植物門，渦鞭毛植物門，緑藻植物門，褐藻植物門，紅藻植物門，真菌植物門，地衣植物門，シダ植物門の代表的な薬用植物が説明できる。			
事後学習[復習]	確認の演習を行ない，講義内容を復習する。			
5回	コアカリNo.	C5 (1) 1-1)～3), C5 (1) 2, C5 (1) 3-1),2)	担当者	
準備学習[予習]	教科書の授業内容に該当する範囲を通読する。			
到達目標・授業内容(方略)	裸子植物亜門(イチョウ科，イチイ科，マオウ科等)及び被子植物亜門，双子葉植物綱，離弁花植物亜綱の代表的な薬用植物が説明できる			
事後学習[復習]	確認の演習を行ない，講義内容を復習する。			

6回	コアカリNo.	C5 (1) 1-1)～3), C5 (1) 2, C5 (1) 3-1),2)	担当者	
準備学習[予習]	教科書の授業内容に該当する範囲を通読する。			
到達目標・授業内容(方略)	離弁花植物亜綱の代表的な薬用植物が説明できる。			
事後学習[復習]	確認の演習を行ない，講義内容を復習する。			
7回	コアカリNo.	C5 (1) 1-1)～3), C5 (1) 2, C5 (1) 3-1),2)	担当者	
準備学習[予習]	教科書の授業内容に該当する範囲を通読する。			
到達目標・授業内容(方略)	合弁花植物亜門綱の代表的な薬用植物の説明ができる。			
事後学習[復習]	確認の演習を行ない，講義内容を復習する。			
8回	コアカリNo.	C5 (1) 1-1)～3), C5 (1) 2, C5 (1) 3-1),2)	担当者	
準備学習[予習]	教科書の授業内容に該当する範囲を通読する。			
到達目標・授業内容(方略)	単子葉植物綱の代表的な薬用植物の説明ができる。			
事後学習[復習]	確認の演習を行ない，講義内容を復習する。			

履修上の注意・受講生への要望	LMSを用いて資料の配布、提出を予定しています。薬用植物園での植物観察を随時入れます。植物形態、植物名、生薬名、学名、用途、成分等、覚える内容が多いので、日々の復習が重要です。薬用植物は薬の原点ともいえます。この科目を1年最初に行なう意味を考えて受講してください。
教科書	最新薬用植物学 著者:奥田拓男 他 廣川書店 定価:¥5，600
参考書	カラーグラフィック「薬用植物」 編者:北中 他 廣川書店 定価:未定
成績評価	定期試験 80%，平常試験、植物観察への積極的な参加、およびレポート 20%、ただし、理由のない欠席が1/3を越えた場合、成績評価を行わない。

2015/03/23(月)14:40

科目名	細胞生物学I(Molecular and Cellular Biology I)								
年次	1	学期	2015年度 前期	単位	2	授業方法	講義	選択必修	薬学A(必修)
科目責任者	村山 琢明		担当者	廣瀬 大					
授業概要及び目標	薬学を学ぶ上で必要な生物学の基礎力を身につけるために，様々な生命現象に関する基本的な知識を習得する。								
準備学習の内容	LMSの資料，および教科書の関連箇所に目を通しておくこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.	C6(2)2-1, C6(2)2-2, C6(2)3-1, C6(2)4-1	担当者	村山
準備学習[予習]	2章 P54-P56, P68-69, P72-P73を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	細胞を構成する物質(タンパク質，糖質)について，その構造と役割を説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習をしておくこと。 講義時に提示した演習問題をしておくこと。			
2回	コアカリNo.	C6(2)1-1, C6(2)5-1	担当者	村山
準備学習[予習]	第2章 P54-58, P70-71, P74-75を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	細胞を構成する物質(脂質，核酸)について，その構造と役割を説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習をしておくこと。 講義時に提示した演習問題をしておくこと。			
3回	コアカリNo.	C6(2)1-1, C6(2)2-1, C6(2)2-2, C6(2)3-1, C6(2)4-1, C6(2)5-1	担当者	村山
準備学習[予習]	P68～75を学習しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	細胞を構成する主な物質の構造を説明できる。 アミノ酸，ヌクレオチド，および代表的な糖，脂肪酸の構造式を書くことができる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習をしておくこと。			
4回	コアカリNo.	C6(1)2-1	担当者	廣瀬
準備学習[予習]	第1章 P11-25，第5章，第14章を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	細胞の構造と働き(核，ミトコンドリア，葉緑体)について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習をしておくこと。			
5回	コアカリNo.	C6(1)1-1, 6(1)2-1	担当者	廣瀬
準備学習[予習]	第11章，第7章，第15章を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	細胞の構造と働き(細胞膜，小胞体，ゴルジ体，リソソーム，ペルオキシソーム，，リボソーム)について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習をしておくこと。			
6回	コアカリNo.	C6(5)1-1	担当者	廣瀬

準備学習[予習]	第3章を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	代謝(異化，同化)について説明できる。独立栄養生物と従属栄養生物について説明できる。ATPの構造について説明できる。酵素反応について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習をしておくこと。			
7回	コアカリNo.	C6(5)2-1	担当者	廣瀬
準備学習[予習]	第13章　P425-433を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	嫌気呼吸(解糖系，アルコール発酵，乳酸発酵)について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習をしておくこと。			
8回	コアカリNo.	C6(5)2-2, C6(5)2-3	担当者	廣瀬
準備学習[予習]	第13章　P436-455，第14章　P453-463を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	酸素呼吸(クエン酸回路，電子伝達系)について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習をしておくこと。			
9回	コアカリNo.	C(4)1-1, C(4)1-2, C7(1)1-1	担当者	村山
準備学習[予習]	第5章　P171-179，第19章　P.664-671を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	遺伝の基本法則について説明できる。遺伝とDNAについて説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習をしておくこと。 講義時に提示した演習問題をしておくこと。			
10回	コアカリNo.	C6(4)3-1, C6(4)2-1	担当者	村山
準備学習[予習]	第6章P197-210を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	DNAの複製について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習をしておくこと。 講義時に提示した演習問題をしておくこと。			
11回	コアカリNo.	C6(4)4-1, C6(4)2-2, C6(4)2-3, C6(4)4-4, C6(4)4-5	担当者	村山
準備学習[予習]	第7章　P231-267を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	遺伝子の発現について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習をしておくこと。 講義時に提示した演習問題をしておくこと。			
12回	コアカリNo.	C6(7)1-1, C6(7)1-2	担当者	村山
準備学習[予習]	P626-627, P666を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	体細胞分裂と減数分裂について説明できる。			
事後学習	講義内容を復習をしておくこと。			

[復習]	講義時に提示した演習問題をしておくこと。			
13回	コアカリNo.	C7(1)1-1	担当者	村山
準備学習[予習]	LMSの資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	伴性遺伝について説明できる。 個体と器官が形成される発生過程を説明できる。細胞の分化について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習をしておくこと。 講義時に提示した演習問題をしておくこと。			
14回	コアカリNo.	C6(3)4-1, C6(1)1-2, C7(2)1-1, C7(2)1-2, C7(2)1-4	担当者	村山
準備学習[予習]	LMSの資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	生体の情報伝達系(神経系)について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習をしておくこと。 講義時に提示した演習問題をしておくこと。			
15回	コアカリNo.	C7(2)1-3, C7(1)12-1, C7(2)2-1	担当者	村山
準備学習[予習]	LMSの資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	生体の持つホメオスタシス(恒常性)について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習をしておくこと。 講義時に提示した演習問題をしておくこと。			

履修上の注意・受講生への要望	資料をLMSにアップロードするので，ダウンロードして持参すること。 講義時に提示した演習問題は必ずしておくこと。
教科書	Essential細胞生物学　原書第3版 B. Alberts他著　中村佳子・松原謙一監訳 南江堂（定価）8,640円(税込)
参考書	基礎から学ぶ生物学・細胞生物学 和田 勝　(著) 羊土社　定価3,240円 細胞の分子生物学 Bruce Alberts　他(著) ニュートンプレス; 第5版　定価24,084円
成績評価	定期試験60%，平常試験30%，授業中の態度と課題10%。ただし，理由なく欠席した場合は，評価しないことがある。

2015/03/23(月)14:42

科目名	細胞生物学II(Molecular and Cellular Biology II)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	2	授業方法	講義	選択必修	薬学A(必修)
科目責任者	村山 琢明		担当者	廣瀬 大、小川 吉夫(非常勤講師)					
授業概要及び目標	多細胞生物の成り立ちを細胞レベルで理解するために，細胞の構成，増殖，分化，死の制御と組織構築について基本的な知識を習得する。								
準備学習の内容	LMSの資料，および教科書の関連箇所に目を通しておくこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.	C7(1)3-1	担当者	村山
準備学習[予習]	LMSの資料を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	細胞集合による組織構築について説明できる。属代表的な組織の種類を列挙し，形態的および機能的特徴を説明できる。			
事後学習[復習]	授業中に配布した演習問題について完了しておくこと。			
2回	コアカリNo.	C6(1)1-1, C6(2)1-1, C6(2)2-1, C6(2)2-2, C6(2)3-1, C6(2)4-1, C6(3)1-1	担当者	村山
準備学習[予習]	第11章を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	細胞膜を構成する代表的な生体分子を列挙し，その機能を説明できる。			
事後学習[復習]	授業中に配布した演習問題について完了しておくこと。			
3回	コアカリNo.	C6(1)1-1, C6(1)1-2, C6(3)2-1	担当者	村山
準備学習[予習]	第11章および第12章を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	"細胞膜の構造と性質について説明できる。 細胞膜を介した物質移動について説明できる。"			
事後学習[復習]	授業中に配布した演習問題について完了しておくこと。			
4回	コアカリNo.	C6(3)4-1	担当者	村山
準備学習[予習]	第12章を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	"イオンチャネルと膜電位について説明できる。 神経細胞のイオンチャネルとシグナル伝達について説明できる。"			
事後学習[復習]	授業中に配布した演習問題について完了しておくこと。			
5回	コアカリNo.	C6(4)2-1	担当者	村山
準備学習[予習]	第5章および第15章を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	"核の構造と機能について説明できる。 染色体の構造と機能を説明できる。"			
事後学習[復習]	授業中に配布した演習問題について完了しておくこと。			
6回	コアカリNo.	C6(4)2-2, C6(4)2-3	担当者	村山

準備学習[予習]	第7章および第15章を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	リボソームの構造と機能を説明できる。			
事後学習[復習]	授業中に配布した演習問題について完了しておくこと。			
7回	コアカリNo.	C6(1)1-2, C6(1)2-1, C6(3)2-2	担当者	村山
準備学習[予習]	第15章を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	小胞体，ゴルジ体，リソソーム，の構造と機能を説明できる。			
事後学習[復習]	授業中に配布した演習問題について完了しておくこと。			
8回	コアカリNo.	C6(5)1-1, C6(5)2-1, C6(5)2-2, C6(5)2-3	担当者	小川
準備学習[予習]	第3章　P81～P92，P104～110，第13章，第14章を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	ミトコンドリアの構造と機能（クエン酸回路と酸化的リン酸化）について説明できる。			
事後学習[復習]	授業中に配布した演習問題について完了しておくこと。			
9回	コアカリNo.	C6(5)3-1	担当者	小川
準備学習[予習]	13章（特にP436～P439），第14章を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	"ミトコンドリアにおけるβ-酸化について説明できる。 ペルオキシソームの構造と機能について説明できる。"			
事後学習[復習]	授業中に配布した演習問題について完了しておくこと。			
10回	コアカリNo.	C6(6)1-1	担当者	小川
準備学習[予習]	第16章を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	細胞の情報伝達について説明できる。			
事後学習[復習]	授業中に配布した演習問題について完了しておくこと。			
11回	コアカリNo.	C6(1)3-1	担当者	小川
準備学習[予習]	第17章　P571～P591を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	細胞骨格を形成するタンパク質（チューブリン，中間径フィラメント）について，その構造と機能を説明できる。			
事後学習[復習]	授業中に配布した演習問題について完了しておくこと。			
12回	コアカリNo.	C6(1)3-1	担当者	小川
準備学習[予習]	第17章　P571～P604を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	細胞骨格を形成するタンパク質（アクチン）について，その構造と機能を説明できる。遺伝子の発現について説明できる。			
事後学習[復習]	授業中に配布した演習問題について完了しておくこと。			

13回	コアカリNo.	C6(6)3-1, 3-2	担当者	小川
準備学習[予習]	第20章 P689～P707を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	"主な細胞外マトリックス分子の種類，分布，性質を説明できる。 細胞間の接着構造，主な細胞接着分子の種類と特徴を説明できる。"			
事後学習[復習]	授業中に配布した演習問題について完了しておくこと。			
14回	コアカリNo.	C6(7)1-1, C6(7)1-2	担当者	村山
準備学習[予習]	第18章 P610～PP636を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	細胞周期と細胞分裂について説明できる。			
事後学習[復習]	授業中に配布した演習問題について完了しておくこと。			
15回	コアカリNo.	C6(7)2-1, C6(7)3-1, C6(7)3-2	担当者	村山
準備学習[予習]	第18章 P638～p646，第20章 P711～P724を通読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	アポトーシスとネクローシスについて説明できる。正常細胞とがん細胞の違いを対比して説明できる。			
事後学習[復習]	授業中に配布した演習問題について完了しておくこと。			

履修上の注意・受講生への要望	資料をLMSにアップロードするので，ダウンロードして持参すること。
教科書	Essential細胞生物学 原書第3版 B. Alberts他著 中村佳子・松原謙一監訳 南江堂（定価）8,640円（税込）
参考書	基礎から学ぶ生物学・細胞生物学 和田 勝 (著) 羊土社 定価3,240円 細胞の分子生物学 Bruce Alberts 他（著） ニュートンプレス; 第5版 定価24,084円
成績評価	定期試験60%，平常試験30%，授業中の態度と課題10%。ただし，理由なく欠席した場合は，評価しないことがある。

2015/03/23(月)14:42

科目名	機能形態学(Physiology and Anatomy)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	2	授業方法	講義	選択必修	薬学A(必修)
科目責任者	益子 崇		担当者	木澤 靖夫、草間 貞					
授業概要及び目標	人体の構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的知識を修得することが目標である。講義では、人体の形態(構造)に主眼を置き、機能との関連について教科書、参考書、プリント、スライドなどの教材を活用しながら目標の達成に努める。最後に、実際に解剖された人体に直接触れ、各臓器の位置や形態、感触や病態時の変化などを確認し、目標を達成する。また、ご遺体を前にして、生命に対する畏敬の念を培う。								
準備学習の内容	人体の構造と機能について学ぶので、臓器の位置や形態ならびに機能について予習しておくこと。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.	C7(1)3-1)	担当者	草間 貞
準備学習[予習]	教科書の該当領域を精読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	総論:ヒトの身体を構成する臓器の名称、形態および体内での位置ならびに各臓器の役割分担について説明できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習しておくこと。			
2回	コアカリNo.	C7(1)7-1)	担当者	草間 貞
準備学習[予習]	教科書の心臓に関する範囲について精読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	循環器系1:心臓について機能と構造を関連づけて説明できる。			
事後学習[復習]	該当する国家試験問題について解答する。			
3回	コアカリNo.	C7(1)7-2)~3), C7(1)14-1)	担当者	草間 貞
準備学習[予習]	教科書の血管系・リンパ系及び造血器系に関する範囲について精読すること。			
到達目標・授業内容(方略)	循環器系2:血管系・リンパ系について機能と構造を関連づけて説明できる。 造血器系:血液成分について機能と構造を関連づけて説明できる。			
事後学習[復習]	該当する国家試験問題に解答すること。			
4回	コアカリNo.	C7(1)8-1)	担当者	木澤靖夫
準備学習[予習]	教科書の呼吸器系に関する範囲について精読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	呼吸器系:肺、気管支について機能と構造を関連づけて説明できる。			
事後学習[復習]	該当する国家試験問題に解答すること。			
5回	コアカリNo.	C7(1)9-1)	担当者	益子 崇
準備学習[予習]	教科書の消化器系に関する範囲について精読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	消化器系1:胃、小腸、大腸などの消化器系について機能と構造を関連づけて説明できる。			
事後学習[復習]	該当する国家試験問題に解答すること。			

6回	コアカリNo.	C7(1)9-2)	担当者	益子 崇
準備学習[予習]	教科書の消化器系に関する範囲について精読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	消化器系2:肝臓、膵臓、胆嚢について機能と構造を関連づけて説明できる。			
事後学習[復習]	該当する国家試験問題に解答すること。			
7回	コアカリNo.	C7(1)10-1)	担当者	益子 崇
準備学習[予習]	教科書の泌尿器系に関する範囲について精読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	泌尿器系:腎臓、膀胱などの泌尿器系臓器について機能と構造を関連づけて説明できる。			
事後学習[復習]	該当する国家試験問題に解答すること。			
8回	コアカリNo.	C7(1)4-1)~2)	担当者	益子 崇
準備学習[予習]	教科書に神経系に関する範囲について精読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	神経系総論:神経系を構成する細胞の構造と機能の概要を説明できる。神経系における興奮の発生・伝導・伝達機構について説明できる。			
事後学習[復習]	該当する国家試験問題に解答すること。			
9回	コアカリNo.	C7(1)4-1)	担当者	益子 崇
準備学習[予習]	教科書の神経系に関する範囲について精読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	中枢神経系:中枢神経系の構成と機能の概要を説明できる。			
事後学習[復習]	該当する国家試験問題に解答すること。			
10回	コアカリNo.	C7(1)4-2), C7(2)8-1)	担当者	益子 崇
準備学習[予習]	教科書の神経系に関する範囲について精読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	末梢神経系:体性神経系の構成と機能の概要を説明できる。自律神経系の構成と機能の概要を説明できる。			
事後学習[復習]	該当する国家試験問題に解答すること。			
11回	コアカリNo.	C7(1)5-1)~2)	担当者	益子 崇
準備学習[予習]	教科書の筋・骨格系に関する範囲について精読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	筋・骨格系:主な骨格筋の名称を挙げ、位置を示すことができる。主な骨と関節の名称を挙げ、位置を示すことができる。骨格筋・心筋・平滑筋の構造と収縮機構について説明できる。			
事後学習[復習]	該当する国家試験問題に解答すること。			
12回	コアカリNo.	C7(1)12-1)	担当者	益子 崇
準備学習[予習]	教科書の内分泌系に関する範囲について精読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	内分泌系:内分泌器の機能と構造を関連づけて説明できる。			
事後学習				

[復習]	該当する国家試験問題に解答すること。			
13回	コアカリNo.	C7(1)6-1), C7(1)13-1)	担当者	益子　崇
準備学習[予習]	教科書の皮膚および感覚器に関する範囲について精読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	皮膚・感覚器系：皮膚について機能と構造を関連づけて説明できる。眼、耳、鼻などの感覚器について機能と構造を関連づけて説明できる。			
事後学習[復習]	該当する国家試験問題に解答すること。			
14回	コアカリNo.	C7(1)1~12	担当者	木澤靖夫、益子　崇、草間　貞、外部講師
準備学習[予習]	当日の諸注意や先輩方の感想文を精読しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	人体解剖見学ガイダンス：人体解剖の歴史や解剖に関する法律ならびに篤志献体について理解する。また、実習当日の次第や諸注意を確認する。			
事後学習[復習]	人体を構成する臓器の存在位置や名称、構造、機能を頭に入れておくこと。			
15回	コアカリNo.	C7(1)1~12	担当者	木澤靖夫、益子　崇、草間　貞、外部講師
準備学習[予習]	人体を構成する臓器の存在位置や構造と機能について頭に入れておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	人体解剖見学：各臓器の外部及び内部形態を確認し個人差や病態変化のあることを確認する。最後に各臓器を生体位に戻し、献体されたご本人ならびにご遺族の方に感謝の黙祷を捧げる。			
事後学習[復習]	スケッチおよび感想文を作成し提出する。			

履修上の注意・受講生への要望	LMS上の資料を各自プリントし、授業に持参すること。
教科書	(書名)新しい機能形態学ーヒトの成り立ちとその働き　第2版 (著者名)小林静子・馬場広子・平井みどり　編 (出版社名)廣川書店　(定価)5,000円(税込)
参考書	(書名)標準看護学講座2　解剖生理学 (著者名)吉川文雄・星猛・林曠　共著 (出版社名)金原出版　(定価)3,000円(税込)
成績評価	定期試験95%　レポート5%

2015/03/23(月)14:43

科目名	特色教育入門I(Introduction to Pharmacy Profession I)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	2	授業方法	講義	選択必修	薬学B(必修)
科目責任者	松本 宜明		担当者	石毛 久美子、亀井 美和子、榛葉 繁紀、林 宏行、藤井 まきこ、松﨑 桂一、内山 武人、小林 俊亮、鈴木 豊史、張替 直輝、荒川 基記、渡邊 文之					
授業概要及び目標	特色のある薬剤師の職能について知る。特色のある薬剤師の実践能力を修得するため、1年次から系統的に設置してある特色教育科目の流れを学び、6年次の特色科目の概略を理解する。さらに医療人としての高い使命感や倫理観の醸成と医療に参画するための基盤を学ぶ。								
準備学習の内容	シラバスの初めに書いてある、薬学教育B(特色教育)①概要②科目内容を読んでおくこと。 薬剤師の仕事にはどのようなものがあるか調べておく。								

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.		担当者	松本 宜明
準備学習[予習]	薬剤師の仕事について調べておく。 将来の自分の職種について考えておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	特色教育として3つの系統があり、特色教育治療系科目(特色Ⅰ)、特色教育地域系科目(特色Ⅱ)、特色教育経営系科目(特色Ⅲ)の概略が説明できる。 特色教育治療系科目(特色Ⅰ)は最新かつ広範な薬物療法の提案能力、特色教育地域系科目(特色Ⅱ)は地域に根差した薬剤師活動の実践能力、特色教育経営系科目(特色Ⅲ)は薬局経営に精通した能力を修得することであることを学ぶ。			
事後学習[復習]	3つの系統で自分が興味を持てると思われるものを決め、将来の仕事について考えておく。			
2回	コアカリNo.		担当者	石毛 久美子
準備学習[予習]	緩和医療とは何かを調べておく。			
到達目標・授業内容(方略)	緩和医療について説明できる。緩和医療における薬物治療について代表的な例を挙げて説明でき、併せて薬剤師の役割について説明できる。			
事後学習[復習]	緩和医療における薬物治療および薬剤師の役割についてまとめておく。 6年次 薬学教育B科目 緩和医療につながることを理解しておく。			
3回	コアカリNo.		担当者	林 宏行
準備学習[予習]	チーム医療の種類を調べておくこと			
到達目標・授業内容(方略)	患者に適切な医療を提供するためには医師のみならず薬剤師、看護師など多職種の連携すなわちチーム医療が重要である。チーム医療における薬剤師の役割が説明できるように講義を行う。			
事後学習[復習]	チーム医療における薬剤師の役割をまとめておくこと。 6年次 薬学教育B科目 実践感染対策と栄養サポートにつながることを理解しておく。			
4回	コアカリNo.		担当者	荒川 基記
準備学習[予習]	薬剤師が医療現場でどの様な役割を担っているかを調べておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	薬剤師が医療現場で患者背景に応じた最善の治療・薬学的ケアを、継続的に実践していくときに必要な能力について、習得するために必要なステップと具体的な習得方法を説明出来る。			
事後学習[復習]	薬剤師が行う患者背景に応じた最善の治療・薬学的ケアに関して、習得すべき項目をまとめておくこと。 6年次 薬学教育B科目 急性期医療と薬学的管理につながることを理解しておく。			
5回	コアカリNo.		担当者	小林 俊亮
準備学習[予習]	バイオ医療に関する最近の記事を調べておく。			
到達目標・授業内容(方略)	先端のバイオ医療を担う再生医療や遺伝子治療がどのようなものであるか概説できる。			
事後学習[復習]	講義内容を復習し、バイオ医療の可能性について考える。 6年次 薬学教育B科目 バイオ・先端医療につながることを理解しておく。			

6回	コアカリNo.		担当者	鈴木 豊史
準備学習[予習]	医薬品には、どのような剤形があるか調べておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	薬物治療の適正化を担うため，製剤の仕組みについて説明でき、医薬品の薬物血中濃度推移、用量、投与回数など、安全で効果的な医薬品の正しい使い方について説明できる。			
事後学習[復習]	医薬品は、体の中でどのような動きをするのかまとめておくこと。 6年次 薬学教育B科目 応用薬剤学につながることを理解しておく。			
7回	コアカリNo.		担当者	内山 武人
準備学習[予習]	医薬品の化学構造式について調べておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	高度な薬物治療を提供するため、医薬品の構造に基づき、その特徴を説明できる。主に化学構造の官能基について学習する。			
事後学習[復習]	医薬品の作用と構造の関係を理解すること。 6年次 薬学教育B科目 医薬分子化学につながることを理解しておく。			
8回	コアカリNo.		担当者	榛葉 繁紀
準備学習[予習]	新聞、インターネット等で生活習慣病の現状を把握しておく。			
到達目標・授業内容(方略)	疾病の現状とその背景にある生活習慣に関して理解し、疾病に対する予防ならびに治療に関して概説できる。			
事後学習[復習]	講義内容をまとめておく。 6年次 薬学教育B科目 生活習慣病と保健薬学につながることを理解しておく。			
9回	コアカリNo.		担当者	藤井 まき子
準備学習[予習]	化粧品にはどのようなものがあるか，調べておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	化粧品と医薬部外品とはどのようなものか説明ができ，適切な使用方法について説明できる。			
事後学習[復習]	身近な化粧品のいくつかについて，成分や使用方法を調べてみる。 6年次 薬学教育B科目 香粧品科学につながることを理解しておく。			
10回	コアカリNo.		担当者	張替 直輝
準備学習[予習]	薬局で取り扱っている検査薬や医療機器について調べておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	セルフメディケーションや薬物治療効果の科学的判定を行うため、薬局で扱っている一般用検査薬や医療機器を列挙することができ、また、その原理や使い方を説明できる。			
事後学習[復習]	検査薬や医療機器で、どのようなことが分かるかをまとめておくこと。 6年次 薬学教育B科目 簡易検査学につながることを理解しておく。			
11回	コアカリNo.		担当者	松崎 桂一
準備学習[予習]	生薬が使われている医薬品（生薬製剤・漢方製剤）にはどのようなものがあるか調べておくこと。医薬品原料となる薬用植物について調べておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	生薬が使われている医薬品（生薬製剤・漢方製剤）について説明ができる。薬物療法における生薬製剤・漢方製剤の有用性と正しい使用法と問題点について説明できる。			
事後学習[復習]	講義中に課題を元に生薬製剤・漢方製剤、薬用植物由来の医薬品についてまとめること。 6年次 薬学教育B科目 漢方医学につながることを理解しておく。			
12回	コアカリNo.		担当者	渡邊 文之
準備学習[予習]	薬局における収益の仕組みを調べておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	薬局における収益の仕組みを理解し、経営を行うために管理が必要な 様々なものを説明できる。			
事後学習	薬局における収益の仕組みと経営する上で管理が必要なものをまとめておくこと。			

[復習]	6年次　薬学教育B科目　薬局経営学につながることを理解しておく。			
13回	コアカリNo.		担当者	亀井　美和子
準備学習[予習]	病院や薬局で扱う医薬品には、どのような種類があるか調べておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	医薬品市場に関する統計値の概要を説明できる。			
事後学習[復習]	医薬品市場に関する統計値の概要をまとめておくこと。 6年次　薬学教育B科目　薬剤経済学につながることを理解しておく。			
14回	コアカリNo.		担当者	亀井　美和子
準備学習[予習]	自分が医薬品を購入する時に、何を重視しているかを考えておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	医薬品を効果と費用の両面から評価することの意義を説明できる。			
事後学習[復習]	効果と費用の両面から評価することの意義をまとめておくこと。 6年次　薬学教育B科目　医薬品マーケティングにつながることを理解しておく。			
15回	コアカリNo.		担当者	松本　宜明
準備学習[予習]	6年次の13の特色科目について内容を確認しておくこと。			
到達目標・授業内容(方略)	多様な薬剤師の仕事を理解して説明できる。 3つの系統の薬剤師の仕事について、小グループで討議しまとめる。 SGDを行い、グループごとに発表する。			
事後学習[復習]	将来の自分の仕事として、3つの系統の仕事の中から最も可能性のあるものを決めておく。			

履修上の注意・受講生への要望	特色ある薬剤師の仕事を理解し、自分の適性と合う仕事を見つけ出すことを考える。 将来の就職など進むべき道を、低学年から意識して学んでください。 6年次には特色のある薬剤師の仕事についてよく理解できるようになるように学修すること。
教科書	プリント
参考書	
成績評価	課題レポート90%、SGDへの積極的参加10%

2015/03/23(月)15:10

科目名	英語検定I(English Proficiency Test I)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	1	授業方法		選択必修	薬学C
担当者:全教員									
授業概要及び目標	大学の授業科目以外で行われる英語検定試験において、所定の成績を修めた場合、1単位を認定する。・「英語検定I」(1単位)の単位として認められる試験とその成績 TOEIC (IPを含む) 600点以上 TOEFL-ITP 500点以上 (TOEFL-IBT 64点以上) 英検準1級								
到達目標・授業内容(方略)									
教材・成績評価等	過去2年間の検定試験の結果を単位認定の対象とする。 所定の成績を修めた場合、認定(N)として1単位が認められる。								

2015/03/23(月)15:10

科目名	英語検定II(English Proficiency Test II)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	1	授業方法		選択必修	薬学C
担当者:全教員									
授業概要及び目標	大学の授業科目以外で行われる英語検定試験において、所定の成績を修めた場合、1単位を認定する。・「英語検定II」(1単位)の単位として認められる試験とその成績 TOEIC (IPを含む) 700点以上 TOEFL-ITP 540点以上 (TOEFL-IBT 76点以上) 英検1級								
到達目標・授業内容(方略)									
教材・成績評価等	過去2年間の検定試験の結果を単位認定の対象とする。 所定の成績を修めた場合、認定(N)として1単位が認められる。 「英語検定II」の単位を取得した場合、「英語検定I」の単位も認定される。								

2015/03/23(月)14:30

科目名	海外語学研修I(English Communication Practice Overseas I)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	1	授業方法		選択必修	薬学C
担当者:全教員									
授業概要及び目標	日本大学が全学生を対象とした短期海外研修の選考試験に合格し、所定の成績を修めた場合、1単位を認定する。本学の短期海外研修とは以下のプログラムをいう。・「ケンブリッジ大学ペンブルックカレッジサマースクール(イギリス)」・「エリザベスタウンカレッジサマースクール(アメリカ)」・「ボンド大学付属英語研修機関スプリングスクール(オーストラリア)」								
到達目標・授業内容(方略)									
教材・成績評価等	単位認定を希望する学生は、単位認定の申請を教務課で行う。 提出書類:研修終了証と成績 所定の要件を満たした場合、成績評価は認定(N)が認められる。								

2015/03/23(月)14:31

科目名	海外語学研修II(English Communication Practice Overseas II)								
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	1	授業方法		選択必修	薬学C
担当者:全教員									
授業概要及び目標	日本大学が全学生を対象とした短期海外研修の選考試験に合格し、所定の成績を修めた場合、または日本大学以外が企画する海外語学研修プログラムに参加し、所定の成績を修めた場合、1単位を認定する。ただし、同一研修に二度参加した場合には、単位認定は認められない。								
到達目標・授業内容(方略)									
教材・成績評価等	単位認定を希望する学生は、単位認定の申請を教務課で行う。 提出書類:研修終了証と成績 所定の要件を満たした場合、成績評価は認定(N)が認められる。								

2015/03/23(月)14:37

科目名	特別講義I(Special Lectures I)							
年次	1	学期	2015年度 後期	単位	2	授業方法	講義	選択必修	薬学C
科目責任者	小山 由美		担当者	北中 進、草間 貞				
授業概要及び目標	《講義のポイント》学んだ知識はどこにつながるのか？薬剤師になったときどう使えるのか？それが分かれば学ぶモチベーションも変わってくるだろう。心臓を一例として分子レベルから臨床レベルまで科学的に探究し、同様に有機化学、薬用植物についても多くの分野・領域と関係していることを学ぶ。 《目標》この講義では、細分化されたさまざまな知識(ミクロな視点)を学ぶ理由を理解し、より広い視野で知識を関連付けていく力、複数の視点(マクロな視点)から物事を考える力を養うことを目標とする。							
準備学習の内容	各講義の準備学習に従うこと。また、前期に学修し、興味を持った事柄(1つでよい)について多様な視点で自ら考え調べ(図書館で本を借りてもよい)、他の分野とどのように関連しているか考えてみること。							

準備学習,到達目標・授業内容(方略)及び事後学習				
1回	コアカリNo.	A(3)①8-9 A(5)①-4 A(5)②-2 G(1)3-4	担当者	小山 北中 草間(貞)
準備学習[予習]	LMS上に指示されたように予習し、講義資料をLMSからダウンロードすること。			
到達目標・授業内容(方略)	ガイダンス。植物と薬学、人体の構造・機能と薬学、最近のトピックと薬学について考え、得られた情報を理論的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。			
事後学習[復習]	講義を受け、より広い視野で物事(生命事象とは限定しない)を考え、何を知り理解すれば疑問が解けるのか調べ、ディスカッションすること。			
2回	コアカリNo.	A(3)①8-9 A(5)①-4 A(5)②-2 G(1)3-4	担当者	北中
準備学習[予習]	LMS上に指示された範囲の教科書・資料を予習すること。			
到達目標・授業内容(方略)	薬草の効能とは何か、その歴史と文化から学び、考え、得られた情報を理論的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。			
事後学習[復習]	講義を受け、より広い視野で物事(生命事象とは限定しない)を考え、何を知り理解すれば疑問が解けるのか調べ、ディスカッションすること。			
3回	コアカリNo.	A(3)①8-9 A(5)①-4 A(5)②-2 G(1)3-4	担当者	北中
準備学習[予習]	LMS上に指示された範囲の教科書・資料を予習すること。			
到達目標・授業内容(方略)	薬用植物の分類と見分け方について学び、考え、得られた情報を理論的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。			
事後学習[復習]	植物の特徴となる部位(葉、花、果実、種子など)についてディスカッションすると共に、正確なスケッチをハガキに行い、提出すること。			
4回	コアカリNo.	A(3)①8-9 A(5)①-4 A(5)②-2 G(1)3-4	担当者	北中
準備学習[予習]	LMS上に指示された範囲の教科書・資料を予習すること。			
到達目標・授業内容(方	生物の進化と多様性について、植物学的な視点から学び、薬用植物の保護と利用について考える。得られた情報を理論的			

略)	に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。			
事後学習[復習]	講義を受け、より広い視野で物事(生命事象とは限定しない)を考え、何を知り理解すれば疑問が解けるのか調べ、ディスカッションすること。			
5回	コアカリNo.	A(3)①8-9 A(5)①-4 A(5)②-2 G(1)3-4	担当者	北中
準備学習[予習]	LMS上に指示された範囲の教科書・資料を予習すること。			
到達目標・授業内容(方略)	体の中で起きている化学反応について学び、考え、得られた情報を理論的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。			
事後学習[復習]	講義を受け、より広い視野で物事(生命事象とは限定しない)を考え、何を知り理解すれば疑問が解けるのか調べ、ディスカッションすること。			
6回	コアカリNo.	A(3)①8-9 A(5)①-4 A(5)②-2 G(1)3-4	担当者	北中
準備学習[予習]	LMS上に指示された範囲の教科書・資料を予習すること。			
到達目標・授業内容(方略)	生体成分と有機化学の関係を分子の立体構造から理解し、得られた情報を理論的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる①。			
事後学習[復習]	講義を受け、より広い視野で物事(生命事象とは限定しない)を考え、何を知り理解すれば疑問が解けるのか調べ、ディスカッションすること。			
7回	コアカリNo.	A(3)①8-9 A(5)①-4 A(5)②-2 G(1)3-4	担当者	北中
準備学習[予習]	LMS上に指示された範囲の教科書・資料を予習すること。			
到達目標・授業内容(方略)	生体成分と有機化学の関係を分子の立体構造から理解し、得られた情報を理論的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる②。			
事後学習[復習]	講義を受け、より広い視野で物事(生命事象とは限定しない)を考え、何を知り理解すれば疑問が解けるのか調べ、ディスカッションすること。			
8回	コアカリNo.	A(3)①8-9 A(5)①-4 A(5)②-2 G(1)3-4	担当者	草間(貞)
準備学習[予習]	講義資料をLMSからダウンロードし、予習すること。			
到達目標・授業内容(方略)	心臓を構成する細胞や組織について、分子レベルや細胞レベルからその構造と機能について学び、考え、得られた情報を理論的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。			
事後学習[復習]	講義を受け、より広い視野で物事(生命事象とは限定しない)を考え、何を知り理解すれば疑問が解けるのか調べ、ディスカッションすること。			
9回	コアカリNo.	A(3)①8-9 A(5)①-4 A(5)②-2 G(1)3-4	担当者	草間(貞)
準備学習[予習]	講義資料をLMSからダウンロードし、予習すること。			
到達目標・授業内容(方略)	心筋細胞ならびに心臓の構造と機能について学び、考え、得られた情報を理論的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。			

事後学習[復習]	講義を受け、より広い視野で物事(生命事象とは限定しない)を考え、何を知り理解すれば疑問が解けるのか調べ、ディスカッションすること。			
10回	コアカリNo.	A(3)①8-9 A(5)①-4 A(5)②-2 G(1)3-4	担当者	草間(貞)
準備学習[予習]	講義資料をLMSからダウンロードし、予習すること。			
到達目標・授業内容(方略)	心筋細胞の自動興奮機構について学び、考え、得られた情報を理論的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。			
事後学習[復習]	講義を受け、より広い視野で物事(生命事象とは限定しない)を考え、何を知り理解すれば疑問が解けるのか調べ、ディスカッションすること。			
11回	コアカリNo.	A(3)①8-9 A(5)①-4 A(5)②-2 G(1)3-4	担当者	草間(貞)
準備学習[予習]	講義資料をLMSからダウンロードし、予習すること。			
到達目標・授業内容(方略)	心筋細胞の収縮力の調節機構について学び、考え、得られた情報を理論的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。			
事後学習[復習]	講義を受け、より広い視野で物事(生命事象とは限定しない)を考え、何を知り理解すれば疑問が解けるのか調べ、ディスカッションすること。			
12回	コアカリNo.	A(3)①8-9 A(5)①-4 A(5)②-2 G(1)3-4	担当者	草間(貞)
準備学習[予習]	講義資料をLMSからダウンロードし、予習すること。			
到達目標・授業内容(方略)	心臓に関係する病気(心不全、虚血性心疾患、不整脈)の原因とその病態について学び、考え、得られた情報を理論的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。			
事後学習[復習]	講義を受け、より広い視野で物事(生命事象とは限定しない)を考え、何を知り理解すれば疑問が解けるのか調べ、ディスカッションすること。			
13回	コアカリNo.	A(3)①8-9 A(5)①-4 A(5)②-2 G(1)3-4	担当者	草間(貞)
準備学習[予習]	講義資料をLMSからダウンロードし、予習すること。			
到達目標・授業内容(方略)	循環器疾患の治療薬について、種類をあげ、その作用機構を学び、考え、得られた情報を理論的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。			
事後学習[復習]	講義を受け、より広い視野で物事(生命事象とは限定しない)を考え、何を知り理解すれば疑問が解けるのか調べ、ディスカッションすること。			
14回	コアカリNo.	A(3)①8-9 A(5)①-4 A(5)②-2 G(1)3-4	担当者	小山
準備学習[予習]	LMS上に指示されたように予習し、講義資料をLMSからダウンロードすること。			
到達目標・授業内容(方略)	iPS細胞と薬学の関係について学び、考え、得られた情報を理論的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。			
事後学習[復習]	講義を受け、より広い視野で物事(生命事象とは限定しない)を考え、何を知り理解すれば疑問が解けるのか調べ、ディスカッションすること。			

15回	コアカリNo.	A(3)①8-9 A(4)4-5 A(5)①-4 A(5)②-2 G(1)3-4	担当者	小山
準備学習[予習]	LMS上に指示されたように予習し、講義資料をLMSからダウンロードすること。			
到達目標・授業内容(方略)	医療における多職種連携、専門職連携について学び、考え、得られた情報を理論的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。			
事後学習[復習]	講義を受け、より広い視野で物事(生命事象とは限定しない)を考え、何を知り理解すれば疑問が解けるのか調べ、ディスカッションすること。			

履修上の注意・受講生への要望	LMSにより連絡、講義資料の配布をおこなう。各自印刷して講義に持参すること。担当教員の指示に従って、準備・予習をすること。
教科書	(書　　名)カラーグラフィック薬用植物　第4版 (著 者 名)北中 進 寺林 進　高野 昭人他 (出版社名)廣川書店 (定　　価)4,536円(税込)
参考書	(書　　名)最新 薬用植物 (著 者 名)奥田拓男　他 (出版社名)廣川書店 (定　　価)6,048円(税込)
成績評価	課題レポート60点，他の受講者とのディスカッション30点，達成度把握表の提出10点。